

平成20年度（2008年度）
事業報告書

財団法人 日本テニス協会

[目次]

平成20年度主要会議報告		3頁
平成20年度表彰伝達式受賞者一覧		4頁
平成20年度事業報告書(寄付行為事業別)		5頁
平成20年度事業報告書(本部・専門委員会別)		
総務・財務本部	総務委員会	9頁
	財務委員会	10頁
	広報委員会	11頁
	IT企画委員会	12頁
	国際委員会	13頁
	企画委員会	14頁
	プロモーション委員会	15頁
	医事委員会	16頁
	テニスミュージアム委員会	19頁
強化本部	ナショナルチーム	21頁
	NTC運営委員会	30頁
	強化企画委員会	30頁
	スポーツ科学委員会	32頁
	育成強化資金委員会	33頁
普及本部	一貫指導推進委員会	34頁
	指導者育成委員会	36頁
	普及委員会・マナーキッズプロジェクト	37頁
	環境委員会	42頁
	ドーピングコントロール委員会	42頁
トーナメント本部	ジャパンオープン委員会	46頁
	国際大会委員会	48頁
	国内大会委員会	49頁
	国体委員会	50頁
	実業団委員会	53頁
	ジュニア大会委員会	54頁
	ベテラン委員会	55頁
	選手委員会	58頁
	審判委員会	59頁
専務理事直轄	一倫理委員会・危機管理委員会・ドーピング判定委員会	61頁

平成20年度主要会議報告

平成20年

4月16日(水)	第1回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
5月15日(木)	第2回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
5月28日(水)	第2回理事会	岸記念体育会館5階会議室
5月28日(水)	第1回評議員会	岸記念体育会館1階会議室
6月19日(木)	第3回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
7月24日(木)	第4回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
9月11日(木)	第5回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
10月23日(木)	第6回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
11月13日(木)	臨時常務理事会	有明コロシアム内2階第2会議室
12月4日(木)	第7回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
12月18日(木)	第8回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室

平成21年

1月14日(水)	第9回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
2月22日(金)	第10回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
3月10日(火)	第11回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
3月18日(水)	第3回理事会	岸記念体育会館5階会議室
3月18日(水)	第2回評議員会	岸記念体育会館1階会議室

以上

平成20年度表彰伝達式受賞者一覧

功労賞

日本テニス協会：石坂泰彦・小浦武志・本村道生・青木弼・矢澤猛・柳原香積・宮浦典善
島田茂・畠中君代・別府諸兄・仲島彰信・土屋善二・橋本有史・助川卓行

北海道テニス協会：長澤茂嗣・八木真理

東北テニス協会：八橋徹英・大口孜

関東テニス協会：横澤規佐良・辻修身・小倉正美・森田哲士・木村喜美雄
三國晃・益子和夫

関西テニス協会：西山征・原山寛・藪田好司・松尾孝義・坂上日出夫

中国テニス協会：屋葺道信・大内俊明

優秀団体賞

日本テニス協会：三基商事株式会社・早稲田大学・長尾谷高等学校

優秀選手賞

ナショナルチーム：杉山愛

優秀審判賞

審判委員会：川廷尚弘

企業賞

国際大会委員会：株式会社ビッグKテニス・ベストアメニティ株式会社
財団法人軽井沢会テニス部

中国テニス協会：日本植生株式会社

メディア賞

広報委員会：毎日放送および株式会社GAORA

以上

財団法人 日本テニス協会 平成20年度事業報告書

自平成20年4月1日至平成21年3月31日

1. テニスの普及及び指導

- (1) テニスを「観戦する楽しみ」の振興を図り、テニスファン、マスコミ・メディア、スポンサーへの普及活動（プロモーション委員会）
- (2) 都道府県における、発掘事業促進施策の策定事業（一貫指導推進委員会）
- (3) 中学校、高等学校指導者に対する支援事業（一貫指導推進委員会）
- (4) 日本中体連加盟に関する促進事業（一貫指導推進委員会）
- (5) 47都道府県テニス協会と他団体との協調と連携により、より多くのテニス愛好家を生み出す活動（普及委員会）
- (6) テニスの日部会の活動（普及委員会）
- (7) ITN システム部会の普及活動・ITN の国内ネットワーク構築のための環境整備（普及委員会）
- (8) JOC スポーツ環境委員会、他の競技団体および環境保全組織と連携し、テニス界を中心に自然環境保全と整備を目的とした活動（3R 推進）（環境委員会）
- (9) マナーキッズテニスの積極的な普及（マナーキッズテニスプロジェクト）
- (10) 第3回文部科学大臣杯マナーキッズテニス全国小学生団体戦の開催（マナーキッズテニスプロジェクト）
- (11) 体育授業として開催（マナーキッズテニスプロジェクト）
- (12) NPO 法人マナーキッズプロジェクトの設立（マナーキッズテニスプロジェクト）

2. 全日本テニス選手権大会及びその他のテニス競技会の開催並びに国内で開催されるテニス競技会の後援、公認

- (1) J T A 公式トーナメントの円滑な運営と管理支援（国内大会委員会）
- (2) 第32回全日本都市対抗テニス大会抽選会ならびに準備等（国体委員会）
- (3) 全日本都市対抗テニス大会の実施（国体委員会）
- (4) 第63回国民体育大会抽選会ならびに準備等（国体委員会）
- (5) 第63回国民体育大会（大分県）開催（国体委員会）
- (6) 第69回国民体育大会（長崎県）第一回中央競技団体正規視察（国体委員会）
- (7) 第23回テニス日本リーグの開催（実業団委員会）
- (8) 第22回全国実業団対抗テニストーナメント（A大会）の開催（実業団委員会）
- (9) 第47回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）の開催（実業団委員会）
- (10) 第70回全日本ベテランテニス選手権大会の開催（ベテラン委員会）
- (11) 第32回全日本ローンコートベテランテニス選手権大会の運営協力（ベテラン委員会）
- (12) 47都道府県協会主催ベテランJOPグレードE大会FGH大会の推進と運営協力（ベテラン委員会）
- (13) 日本スポーツマスターズ・テニス競技の運営と協力（ベテラン委員会）
- (14) アジア都市対抗ベテラン大会の日本開催（ベテラン委員会）
- (15) 審判員派遣事業の開催（審判委員会）

3. テニスに関する国際競技会を開催し、又は国際競技会への代表者の選考及び派遣並びに外国からの選手等の招聘

- (1) 2008 AIG ジャパンオープンの開催（ジャパンオープン委員会）
- (2) 各種国際大会の主催ならびに後援・公認（国際大会委員会）
- (3) 各種国際大会の開催ならびに外国からの選手招聘（国際大会委員会）
- (4) 国際ベテラン大会への選手派遣（ベテラン委員会）

4. テニスに関する公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

- (1) 国際審判員、レフェリー養成事業並びに審判員、レフェリー養成事業の開催（審判委員会）
- (2) 審判員養成、拡大事業への開催（審判委員会）
- (3) 公認審判員・公認 B 級レフェリー管理登録事業の開催（審判委員会）
- (4) 公認指導員養成事業及び検定会・研修会の開催と教育プログラムの制作を行う（指導者育成委員会）

5. テニスの競技力向上

- (1) ナショナル代表チーム (Team Japan) の遠征（ナショナルチーム）
- (2) オリンピックサポート体制の強化（ナショナルチーム）
- (3) ナショナル代表チーム・ナショナル代表候補およびナショナルメンバーのキャンプ（ナショナルチーム）
- (4) 国内遠征へのコーチ派遣（ナショナルチーム）
- (5) 低年齢プレーヤーの運動能力開発と基礎技術の向上（ナショナルチーム）
- (6) ジュニア選手を取り巻く環境向上のための啓蒙活動（ナショナルチーム）
- (7) 医科学チーム（医事委員会・スポーツ科学委員会）との連携（ナショナルチーム）
- (8) 全国各地にて活躍するコーチの連携による強化（ナショナルチーム）
- (9) 競技力向上を目的としたコーチ及びトレーナーの育成（ナショナルチーム）
- (10) ジュニア大会を取り巻く環境の改善（ナショナルチーム）
- (11) コーチ派遣事業の実施（JPTA との協力）（ナショナルチーム）
- (12) ATF 諸国との連携によるアジアテニスの振興（ナショナルチーム）
- (13) ワンコイン制度の確立（ナショナルチーム）
- (14) ナショナルチームをサポートするスポンサーの獲得（ナショナルチーム）
- (15) ナショナル代表選手遠征事前のキャンプ（NTC 運営委員会）
- (16) ナショナルジュニア強化合宿（NTC 運営委員会）
- (17) 地域選手、指導者に対する合宿（NTC 運営委員会）
- (18) 関係組織との連携による強化施策の検討（強化企画委員会）
- (19) 発育発達段階に応じた強化施策の検討（強化企画委員会）
- (20) ジュニア育成環境整備プロジェクト（強化企画委員会）
- (21) ジュニア選手の海外派遣、遠征のあり方についての検討（強化企画委員会）
- (22) テニスコートサーフェスに関する問題の検討（強化企画委員会）
- (23) ナショナル代表、ナショナルメンバー（候補選手）に対するのスポーツ科学的サポート（JISS 委託研究）（スポーツ科学委員会）
- (24) デビスカップ、フェドカップ、および国内大会の戦術・ゲーム分析（スポーツ科学委員会）
- (25) スポーツ科学・コーチングセミナーの開催（ナショナルコーチングワークショップの開催）（スポーツ科学委員会）
- (26) ジュニア選手の戦術、ゲーム分析について（ヨネックス財団助成金対象事業）（スポーツ科学委員会）
- (27) NTC との連携事業（スポーツ科学委員会）
- (28) インフラ整備（スポーツ科学委員会）
- (29) 中牟田教育プログラム実地研修合宿事業（一貫指導体制推進委員会）
- (30) 選抜ジュニア会場における教育プログラム事業（一貫指導体制推進委員会）
- (31) 一貫指導体制の全国構築に関する施策の策定事業（発掘・育成・強化指導体制）（一貫指導体制推進委員会）
- (32) NTC 「ナショナルメソッド」の地域巡回伝達事業と視察（一貫指導体制推進委員会）
- (33) 「ナショナルエリアコーチブロック派遣強化合宿」※事業計画での事業名を変更（一貫指導体制推進委員会）
- (34) 強化指導指針Ⅲの編纂事業（一貫指導体制推進委員会）

- (35) 会議の開催（一貫指導体制推進委員会）
- (36) ジュニア大会のより発展と活性化に協力（ジュニア大会委員会）

6. テニスに関する競技規則及びアマチュア規定の制定並びにテニスランキングの作成

- (1) ジュニア選手に関わる各種規定の方向性の検討（強化企画委員会）
- (2) ジュニア大会に関する各種規程の改善と設定（ジュニア大会委員会）

7. 日本テニス界を代表して、財団法人日本体育協会、財団法人日本オリンピック委員会、国際テニス連盟（略称 I. T. F.）及びアジアテニス連盟（略称 A. T. F.）に加盟すること

- (1) 国際テニス連盟及びアジアテニス連盟、日本オリンピック委員会他団体の会議出席、並びに行事への参加。海外各国協会、大会への協力活動、及び関係者への対応と情報伝達（国際委員会）
- (2) 海外国際大会への出席及び総合国際競技会への参加（国際委員会）
- (3) 国際団体会議・行事への出席（国際委員会）
- (4) 財団法人日本体育協会競技運営部会への出席（国体委員会）
- (5) 財団法人日本体育協会主催日本スポーツマスターズ委員会への出席（ベテラン委員会）

8. 年鑑その他の刊行物の発行

- (1) ルールブックの発刊・ルールの周知徹底（国内大会委員会）
- (2) ルールブックの編集と発行事業（審判委員会）

9. テニスに関する用具及び施設の検定並びに公認

- (1) テニスに関する用具の認定、公認（総務委員会）

10. テニス施設の管理運営

- (1) NTC の運用管理と効果的な施設活用（NTC 運営委員会）

11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) J T A 表彰（総務委員会）
- (2) J T A 特別表彰（総務委員会）
- (3) オリジナルコーチの表彰（総務委員会）
- (4) 選手報奨金の授与（総務委員会）
- (5) 諸規程の新設・改定（総務委員会）
- (6) 各種イベント後援申請等の審査（総務委員会）
- (7) JTA コミュニケーションとしての活動（広報委員会）
- (8) JTA 公式サイト専用のウェブサーバ構築（IT 企画委員会）
- (9) 公益法人制度改革への対応（企画委員会）
- (10) 公益法人制度改革関連調査（企画委員会）
- (11) マーチャンダイジング事業化（企画委員会）
- (12) 観るテニスの普及（企画委員会）
- (13) JTA の持つ価値、財産を広く認知してもらうことにより、テニス・JTA ならびに主催大会・関連事業の価値向上を図る（プロモーション委員会）
- (14) ナショナルチームに対するメディカルサポートの充実（医事委員会）
- (15) ドクター・トレーナーの派遣（医事委員会）
- (16) テニス障害の対策（医事委員会）
- (17) 選手の痙攣防止対策の立案・提言（医事委員会）
- (18) スポーツビジョン(スポーツに必要な視覚能力)の啓蒙と普及（医事委員会）
- (19) トレーナー業務の整備・充実（医事委員会）

- (20)地域メディカルサポート体制の整備（医事委員会）
- (21)テニス医学情報の収集（医事委員会）
- (22)テニス障害の情報発信（医事委員会）
- (23)歴史的テニス資料の収集・保存、そして調査・公開（テニスミュージアム委員会）
- (24)AIG ジャパンオープンなどで歴史展示開催および各方面との協力（テニスミュージアム委員会）
- (25)「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立に向けた基金の創設準備（テニスミュージアム委員会）
- (26)競技力向上に関する調査の実施（強化企画委員会）
- (27)会議の開催（強化企画委員会）
- (28)ワンコイン制度の定着と発展（育成強化資金委員会）
- (29)クラブ JTA 見直しおよび新たな運営の企画（育成強化資金委員会）
- (30)ドーピング検査の実施（ドーピングコントロール委員会）
- (31)アンチ・ドーピング対策（ドーピングコントロール委員会）
- (32)アンチ・ドーピングの啓蒙（ドーピングコントロール委員会）
- (33)国際大会委員会とトーナメント本部委員会会議の開催（国際大会委員会）
- (34)J T T大会、J 1・J 2大会の整備ならびに日程調整（国内大会委員会）
- (35)一般アマチュア選手登録拡充と管理（国内大会委員会）
- (36)J T Aランキングシステムの拡充と管理（国内大会委員会）
- (37)国体委員会の開催（国体委員会）
- (38)国民体育大会の審判員資格に関して（国体委員会）
- (39)国体時の監督の資格に関して（国体委員会）
- (40)国体テニス競技、全日本都市対抗テニス大会参加選手に付与する JTA ポイントの見直しについて（国体委員会）
- (41)定例会議、日本リーグ関係会議他の開催（実業団委員会）
- (42)会議の開催（ジュニア大会委員会）
- (43)プロフェッショナル選手の登録管理（選手委員会）
- (44)新規プロフェッショナル対象研修会の開催（選手委員会）
- (45)全日本テニス選手権大会ジュニアテニススクールの開催（選手委員会）
- (46)全日本テニス選手権大会選手ミーティングの開催（選手委員会）
- (47)審判関連の問い合わせ、情報提供の開催（審判委員会）
- (48)倫理規程のテニス愛好家への浸透と啓蒙活動の促進ならびにテニスに関する倫理観についての研究活動と事例集の周知活動（倫理委員会）
- (49)その他、JTA 専門委員会活動と事業

平成20年度事業計画に基づき、以下の委員会は専門委員会分掌事項に定められた業務を分担遂行した。

総務委員会、財務委員会、広報委員会、I T企画委員会、国際委員会、企画委員会、プロモーション委員会、医事委員会、テニスミュージアム委員会、ナショナルチーム、N T C運営委員会、強化企画委員会、スポーツ科学委員会、育成強化資金委員会、一貫指導推進委員会、指導者育成委員会、普及委員会、マナーキッズテニスプロジェクト、環境委員会、ドーピングコントロール委員会、ジャパンオープン委員会、国際大会委員会、国内大会委員会、国体委員会、実業団委員会、ジュニア大会委員会、ベテラン委員会、選手委員会、審判委員会、倫理委員会、危機管理委員会、ドーピング判定委員会

以上

財団法人日本テニス協会 平成20年度 事業報告書

総務・財務本部（本部長：内山 勝）

総務委員会（委員長：秋田 修廣）

事業区分：9

事業名：テニスに関する用具の認定、公認

当該期間中に以下、公認・推薦申請（合計50社）を処理した。

①公認：ボール7社12球

内、新規：SRIスポーツ株式会社「DUNLOP FORT made in Thailand」

②推薦：ラケット、ウェア、コート、シューズ、シューズインソール、ネット、ストリング、ラインテープ、スポーツコンタクト、スポーツサングラス、低周波治療器、健康補助食品、ソフトウェア 計43社

内、新規：株式会社ミネムラ（ウェア）

事業区分：11

事業名：JTA表彰

表彰規程に基づき表彰者の選定を行った。表彰者に対しては、平成20年5月28日（水）岸記念体育会館スポーツマンクラブにおいて35件の表彰伝達式を行った。

①功労賞：14名【坂井利郎・神和住純・八木知徳・高谷雄三・佐藤敦・中野孝一・森井美也子・田篠雅文・植田安司・木村淳三・仁坂幸夫・川辺義次郎・滝川宏行・村川洋】

②優秀団体賞：2社【三基商事株式会社・北日本物産株式会社】

3校【早稲田大学・富山商船高等専門学校・柳川高等学校】

③最優秀選手賞：1名【国枝慎吾】

④優秀選手賞：1名【錦織圭】

⑤ジュニア大賞：2名【土居美咲・奈良くるみ】

⑥優秀審判員賞：2名【光富美穂子・山中友子】

⑦優秀指導者賞：3名【土橋登志久・水主勝・向和彦】

⑧企業賞：6社【旭化成アイミー株式会社・山陽放送株式会社・株式会社グリーンテニス・軽井沢町役場・アーバンリゾーツ昭和の森株式会社・株式会社メガスポーツ】

⑨メディア賞：1社【日本放送協会】

事業区分：11

事業名：JTA特別表彰

表彰規程に基づき特別表彰として、引退した寺地貴弘選手・佐伯美穂選手に対しその功績を称え、全日本テニス選手権大会の会場にて表彰した。佐伯選手は女子シングルス決勝日の平成20年11月15日（土）に、寺地選手は男子シングルス決勝日の平成20年11月16日（日）にそれぞれ引退セレモニーを行った。

事業区分：11

事業名：オリジナルコーチの表彰

ジュニア育成・普及コーチ奨励金制度に基づくオリジナルコーチの表彰は、今回は残念ながら対象者がいなかった。

事業区分：11

事業名：選手報奨金の授与

選手報奨金規定に基づき表彰者の選定を行った。

年間表彰者男子2名【錦織圭・添田豪】女子3名【森田あゆみ・中村藍子・藤原里華】の5名に対しては、平成20年11月10日（月）全日本テニス選手権大会のレセプション会場の東京ベイ有明ワシントンホテルにおいて報奨金の授与を行った。

事業区分：11

事業名：諸規程の新設・改定

諸規程の改定を、平成20年度中に合計6件行った。

- ①改定：就業規則
 - 寄付行為
 - ジュニア憲章
 - 本部・専門委員会規程
 - 事務局規程
 - 専門委員会分掌事項
- ②新設：なし

事業区分：11

事業名：各種イベント後援申請等の審査

年間22イベントの共催・後援・公認・承認を審査し常務理事・本部長会議に上程した。

- ①共催：全日本学生テニス選手権大会
 - 全日本大学対抗テニス王座決定試合
 - 全日本学生室内テニス選手権大会
 - 全国高等専門学校体育大会
 - 日中成人スポーツ交流事業
 - 日・中・韓交流競技会
- ②後援：グラスホッパー全国ジュニアテニス in 佐賀
 - 全日本学生庭球同好会選抜ダブルストーナメント
 - 関東車いすテニス大会
 - 全国ショートテニストーナメント
 - ねんりんピック北海道・札幌テニス交流大会
 - オリンピックふれあい交流事業
 - 日本テニス学会第20回記念大会
 - 東京都知事杯有明チームテニスコンペティション
 - 日韓スポーツ交流事業
- ③公認：Peace Cup 国際交流車いすテニス大会
 - 三沢国際車いすテニス大会
 - 埼玉ジュニアテニス春季2009
 - 兵庫国際女子オープンテニス2009
- ④承認：エリナ国際女子オープン
 - JNS こもろ国際女子オープンテニストーナメント
 - 新潟女子国際テニス大会

以上

財務委員会（委員長：内山 勝）

1、公益法人制度改革

- ・平成20年12月からスタートした公益法人制度改革につき、企画委員会と連携し、様々な情報収集と準備を行った。
- ・当初、スタート時に公益財団法人の申請を提出する予定でしたが、色々と審議した結果、組

織・定款・事業等の見直しが必要なことからじっくり取り組み、2～3年の内に新制度への申請を行うこととし、引き続き継続事業とする。

2、会計経理の月次報告

- ・月次の収支報告が月次予算対比になっていなかったため、正確な進捗状況が掴めないケースもあった。
- ・各委員会から再度月次収支予算の提出を求め、予算と実績の対比を常務理事会に提出するように実施したが、各委員会からの情報伝達不足もあり、十分な実績とはならなかった。
- ・そこで、月次毎に、予算対比プラス要因とマイナス要因を列記し、全体予算に対しての進捗状況が解るように報告するようにした。

以上

広報委員会（委員長：八田 修孝）

事業区分：11

事業名：JTA コミュニケーションとしての活動

事業内容：下記に事業別に記載

1. ホームページによる JTA 情報発信

毎日6万強のアクセスがあるJTAホームページを、利用者がよりわかりやすく、便利でさらに興味を沸く、最新でニーズにあった情報を随時更新に務めた。また昨年度より立ち上げた【JTA OFFICIAL BLOG】は年回150回の更新を行った。この他、4大大会及び国別対抗戦、国内主要大会への記者派遣も含め、日本人選手の海外での活躍や、国内主要大会の報道にも積極的に行った。

2. 動画配信サイト「TENNIS ONLINE」の運用

国内開催の主要大会を映像に収めインターネットでの動画配信を行うTENNIS ONLINE。取材・編集などに経費が掛かるため課金方式を採用（月額¥420-）。今まで映像として見るのでできなかった全日本テニス選手権、日本リーグなど、国内大会の初回戦から、また一般愛好家に関心のあるダブルスなどを配信すると共に、ナショナルチームの練習を紹介するといったレッスンコンテンツも視野に入れ制作、配信。また、今年度もWOWOW社から動画コンテンツの提供を受け、全豪、全仏、全米の日本選手試合も配信。錦織圭のドキュメンタリーコンテンツの制作を行い、無料配信もおこなった。最大のトピックスはJAPAN OPEN及び全日本選手権でNHKさんのON AIRのない全試合（有明コロシアムのみ）を生中継で報道した。（平成21年3月末現在で会員数38,000人／無料会員を含む）

3. メールマガジンの発信

メールマガジン「テニスファン」を継続的に発信し、またデビスカップ、フェドカップ、全日本、AIG OPENなど主要大会では毎日速報を発信しテニスファンへのサービスを行った。年間配信回数、80回。会員数12,000名（平成21年3月末現在）

4. メディアメールの発信

報道関係者（新聞、テレビ、ラジオ、テニス専門誌等々の媒体）に対しより効率の良い情報発信として、インターネットを利用したメディアメールをより頻度を上げて配信した。従来の記者発表や記者クラブ掲示に加え、より正確、敏速な情報発信が出来るようになった。年間配信回数、65回。配信人数95名（平成21年3月末現在）

5. JTA NEWS の発行

JTA NEWSをアニュアルレポートとして8月に発行した。各役員、本部長、委員長などの事業計画、報告や前年度の収支決算などが報告されている。その内容はホームページにもアップされている。発行部数は11,000部で都道府県協会及び関連団体に配布され、広報誌としての役割を果たしている。

6. テニスプレーヤーズガイドの発行

東京運動記者クラブ・テニス分科会のご協力により編集。マスコミ、メディア向けのみならずイベントの企画運営を行うスタッフ一般愛好者むけのガイドブックとして、500部を発

行した。

7. プログラム、ポスター、チラシ等の企画、発行

フェドカップ、全日本、ジャパンオープン等の主要大会のプログラム、ポスター、チラシ等の企画・発行を広報委員会主体の作業として扱い、将来の一貫した JTA ポリシーを入れる企画、編集で作成した。

8. プレスルームの運営

全日本選手権、AIG OPEN、デビスカップ、フェドカップなどの主要大会のプレスルームの管理運営を行った。期間中は「ライブスコア」のコンテンツ部分のサポート。この他大会のデイリープログラム。メディアガイドも責任編集。また選手入場時のプロフィールを作成。ホームページのコンテンツ更新を含め、円滑な情報発信を行えるように努力した。

【総括】

広報委員会では今年度、上記項目を主な仕事として活動いたしました。中でも JTA ホームページ（動画サイト、ブログを含む）の質的な向上と維持管理が、一般テニス愛好家を含め、日本テニス協会関連各位への情報発信として最大のツールとの認識で、サーバの移行を含め大規模なリニューアルを致しましたが、動的コンテンツでは完成型にはほど遠く、よりいっそうのボリュームアップが求められています。私たちは日本テニス界でリーダーシップを持てるサイト構築を念頭に置いて活動してゆくべく、より広範囲に活動する努力を続けたいと思います。ATP や WTA ではコミュニケーションというセクションで活動していますが、我々広報委員会は、日本テニス協会（各本部、各委員会）から配信される多くの情報を、各地域・都道府県協会、選手、メディア、一般テニス愛好家の方々に様々な形で伝達すること、なかでも、日本テニス協会や日本選手とテニスファンとの間のパイプ役となることを最大のテーマとして活動します。

以上

IT 企画委員会（委員長：八田修孝）

事業区分：1 1

事業名：JTA 公式サイト専用のウェブサーバ構築

事業内容：インターネットでの JTA 発信の情報のニーズが年々高まりかつ多様化し、その責務に応じたウェブサーバの構築が今年も急務であった。

1. サーバの増強

AIG オープン開催時にはレンタルサーバの転送限界を超え、急遽専用サーバ 4 台体制に変更し乗り越えることとなった（他にライブスコアサーバも 3 台体制）。その後は、国別対抗戦、ライブスコアに備えて常時 2 台体制で運用を続けている。2009 年度は常時 4～5 台、AIG オープン時には 5～6 台に増設するのが望ましいと思われる。テレビで見ることのできない選手の素顔や試合風景を見ることができる「JTA ビデオレポート」は好評であるため、動画配信能力をキープするためにもサーバ増強も進めたい。

2. 新サイトとしてリニューアル。

aigopen.jp、daviscup.jp、fedcup.jp、alljapantennis.jp のドメイン取得。
各々のサイトを確立して制作。

3. メールサーバの移転

現行メールサーバの老朽化に伴いサーバを移転。

4. サーバーサポート・保守

JTA のサーバはサーバレンタル業者に月極でレンタルしている。レンタル費にはセキュリティ機能、アクセス分析機能のオプションが追加されている。

また、サーバのコンテンツのアップ、更新、システム保守を業者に委託している。レンタルサ

サーバではサーバ業者はコンテンツの保守・維持を一切行わないため、Web とメールの両方で常時維持作業が必要になる。特殊な技術を必要とするため、外部委託が適当と判断している。業者への管理委託費用は現時点で特に支払わず、個別のコンテンツ更新依頼に含める形になっている。

5. ファイル共有サーバ新設

事務局内、委員会、多数の委員、ボランティアとの情報共有において、従来のメール、ディスクによるやりとりでは煩雑で混乱しやすく、なんらかの解決策を検討している。また、個別のパソコンがウィルスや、ウィルスメール、不具合などでトラブルを起こすこともあり、個別のパソコンにだけ情報を保存することによる情報喪失の危険を回避する必要性もでてきている。更に、個人情報保護法の求める要件を満たすために、パソコンの利用、情報の利用に際して、ユーザ名とパスワードを求め、秘密を守ることを可能にする必要性も高い。これらの解決を図るために、新たに「JTA 情報共有サーバ」を設置した。

6. トータル情報システム

新システム設計の事前調査と仕様書の作成。入札企業からの見積書の精査。比較書の作成。新システム導入に対する簡単な収支貸借対照表作成。常務理事会で説明。

7. ネットワーク整備

有明コロシアムのインフラを整備し、回線の速度向上を図った。

以上

国際委員会（委員長：川廷 尚弘）

1. 国際テニス連盟及びアジアテニス連盟、日本オリンピック委員会他団体の会議出席、並びに行事への参加。海外各国協会、大会への協力活動、及び関係者への対応と情報伝達

(1) 国際会議への派遣

1) 国際テニス連盟（ITF）関係

① 年次総会

2008年6月12日～14日 於：モスクワ ロシア

出席： 川廷栄一（ITF 名誉副会長）

内山 勝（JTA 代表）

川廷尚弘（JTA 代表）

内容： 大会、行事、財務、その他の報告と提案、討議。規約の改正、会員資格の認定、競技規則の変更等を承認。

② 事務局：

川廷尚弘がアジア地域エグゼクティブとして、各国協会の組織指導、大会協力、審判講習会等に従事。

2) アジアテニス連盟（ATF）関係

① 年次総会

総会：2008年7月27日～28日 於：マニラ フィリピン

出席： 川廷尚弘（JTA 代表）

八田修孝（JTA 代表）

内容： 大会、行事、財務、その他の報告と討議。規約の改正の承認。

2. 海外国際大会への出席及び総合国際競技会への参加

1) オリンピック

2008年8月8～11日 於：北京

出席： 川廷栄一（大会テクニカルデレゲイト）

川廷尚弘（大会チーフアンパイア）

辻村美和 (テクニカルオフィシャル)
大原泰次郎 (テクニカルオフィシャル)

2) パラリンピック

2008年9月5-14日 於：北京
出席：川廷尚弘 (チーフアンパイア)
光富美穂子 (テクニカルオフィシャル)

3. 国際団体会議・行事への出席

(1) 国際会議への出席

- 1) 国際テニス連盟 ①オリンピック委員会
出席：川廷榮一 (オリンピック委員)
②R&R会議 (デ杯・フェド杯運営評価委員会)
出席：川廷榮一 (R&R委員)
- 2) 北京五輪組織委員会 (BOCOG)
①五輪準備会議
出席：川廷榮一 (ITF五輪担当)

以上

企画委員会 (委員長：高橋 甫)

事業区分：11

事業名：公益法人制度改革への対応

事業内容：平成20年12月1日の新制度の施行を前に公表されたガイドラインの内容の検討、新制度下での機関設計に関する報告書、文科省競技スポーツ主催の説明会の報告書を作成等、公益法人制度改革への具体的対応に向けた調査活動を行った。

事業区分：11

事業名：公益法人制度改革関連調査企画

事業内容：日本テニス協会を取り巻く社会経済環境の変化、それに伴う諸課題 (中長期ビジョン策定と財政基盤の確立を含む) と日本テニス協会にとっての公益法人改革のあり方との関わりの検討を行った。併せて、新制度の下での日本テニス協会にとって好ましい新法人の形態や移行準備の方法に関する検討を行なった。

事業区分：11

事業名：マーチャンダイジング事業化

事業内容：広報委員会との連携の下、JTAポスターカレンダーの製作を行い、地域、都府県協会、テニス関連団体へ配布や全日本テニス選手権会場での販売を行い、日本テニス協会、ナショナルチームそして主要テニス大会の社会告知に努めた。

事業区分：11

事業名：観るテニスの普及

事業内容：フェドカップ、AIG ジャパンオープンにおいて、国際テニスボランティアを組織し、在京大使館関係者を含むVIPを接受を行った。

以上

プロモーション委員会（委員長：金森 悟）

1. テニスの普及

テニスを「観戦する楽しみ」の振興を図り、テニスファン、マスコミ・メディア、スポンサーへの普及活動。

(1) AIG Japan Open（入場者数：75,846人）

（9月28日～10月5日／有明テニスの森公園・コロシウム）

1) インフォメーション・カウンター、VIP対応を含むサービス面での協力。

① 28日の前夜祭に始まり、錦織人気は高く、加えてフェレール、ロディック、デルポトロの出場、女子はクルム伊達の復活の影響で前年を上回るご来場をいただいた。インフォメーション・カウンターは、今年は4ヶ所（西口・東口・入場口、AIGスクエア）体制で実施。月&火の荒天を除き天候に恵まれた。ただし、平日のボランティア確保に苦勞し、東口&AIGスクエアの運営時間帯を区切るなど、来場者の動向を見ながら、フレキシブルな対応で切り抜けることができた。

② ボランティア動員は、平日・昼間の主婦層を確保。数名であるが大学生のネットワークができ、今後へつなげてゆきたい。

③ コロシウム内の座席案内は、シミズオクトさんとの連携・会場案内板の改善により、問い合わせが激減。平日の人員不足も含め、混乱も無く、会場案内、物販に集中できた。

③ プログラム(約7,800冊)+OPの合計販売総額は、約1,077万円と貢献した。

2) JTA コーナー：書籍販売(約14万円)

3) 観客サービスイベント運営&手伝い(大会・広報委員会ご協力の下)

① JTA抽選会、スタンプラリー、選手サイン会(金～日、各60名)など。

4) 委員及びスタッフの支払い日当総額約78万円

(2) ニッケ全日本テニス選手権大会(入場者数：36,478人)

(11月9日～16日／有明テニスの森公園・コロシウム)

1) インフォメーション・カウンター、VIP対応を含むサービス面での協力。

① プログラム(1,874冊)、OP、色紙販売(合計販売総額、約72万円)

2) JTA コーナー(約10万円)

(ルールブック、プレーヤーズガイド、「写真が語る日本テニス史」、絵はがきなど)

* 指導者ポイント押印業務は、テニスミュージアムへ移管した。

3) 観客サービスイベント協力

① サイン会(約600名/各日2回/3日)、

② ゲスト&チャンピオン(38名の参加)

・雨天で予定通りの試合はできなかったが、雨も上がり、テニスも満喫いただいた。懇親会でも盛り上がり、当初の目的は、十分に達成できた。

4) 委員及びスタッフの支払い日当総額約64万円(前年67万円)

(3) テニスの日(9月21日&23日／有明テニスの森公園・コロシウム)

* 東レPPOの有明開催が始まり、イベントなどを二日に分けた。

1) 運営への全面協力。運営ボランティアのべ10名の動員。

(4) JTA コーナー

上記のJTA主管大会において、JTAをPRする場としてJTAコーナーを開設及び運営した。

JTA発行の出版物(ルールブック、テニスプレーヤーズガイドなど)の販売を中心に展開。その他、ATPカレンダー販売、企画委員会のJTAカレンダー、テニスミュージアム委員会の「写真が語る日本テニス史」・絵はがき販売支援も行った。

(5) ボランティア・ネットワークの安定化および構築と充実について

ボランティア・ネットワークの構築をスタートして2年が経過した。ボランティア登録者数は、約80名。安定的に、大会へのお手伝いの体制を構築してきている。昨今の、個人情報保護の観点からも、JTAとして、より責任を持ったボランティア管理体制を考え、登録

を「JTA 登録」を継続。登録者へのご案内は、JTA 事務局（JTA アドレス）から発信し、返信先も事務局（JTA アドレス）へ返すことに統一した。また、1年間、ボランティアでお手伝いいただいた方との交流とお礼として、2月11日に神宮テニスクラブ(室内コート)にて、懇親テニスを開催した。約30名のご参加の下、無事に終了した。

2. JTA の活動をプロモーションし、JTA の価値向上を図る為の企画、活動（広報委員会との共同で）

JTA の持つ価値、財産を広く認知してもらうことにより、テニス・JTA ならびに主催大会・関連事業の価値向上を図る。

- (1) AIG OPEN へのスポンサー企業候補の招待を計画したが、業種、他大会との関係など整理が付きなかつた。JTA 全体および各大会などの企業スポンサーについての情報共有化と、一元管理体制をすることにより、より良いスポンサーとの関係作りが構築できるのではないだろうか。今後の課題としたい。

以上

医事委員会（委員長：別府 諸兄）

事業区分：11

事業名：ナショナルチームに対するメディカルサポートの充実

- 1) デ杯・フェド杯チームへのメディカルサポート
 - ①フェド杯／ワールドグループ II・1回戦・対クロアチア戦
期日：平成20年2月2日（土）～2月3日（日）
会場：ビーンズドーム（兵庫）
チームオフィシャルドクターとして、金森章浩 Dr を派遣。
チームオフィシャルトレーナーとして、村木良博トレーナー部会長を派遣。
アシスタントトレーナーとして茂木奈津子 Tr を派遣。
 - ②デ杯／アジアオセアニアゾーングループ I・1回戦・対フィリピン戦
期日：平成20年2月8日（金）～2月10日（日）
会場：リーサル・メモリアル・テニスセンター（フィリピン・マニラ）
チームオフィシャルドクターとして、奥平修三 Dr を派遣。
チームオフィシャルトレーナーとして、中尾公一 Tr を派遣。
 - ③デ杯／アジアオセアニアゾーングループ I・2回戦・対インド戦
期日：平成20年4月11日（金）～4月13日（日）
会場：ニューデリー（インド）
チームオフィシャルドクターとして、奥平修三 Dr を派遣。
チームオフィシャルトレーナーとして、中尾公一 Tr を派遣。
 - ④フェド杯／ワールドグループ・1回戦・対フランス戦
期日：平成20年4月26日（土）～4月27日（日）
会場：有明コロシアム（東京）
チームオフィシャルドクターとして、三谷玄弥 Dr を派遣。
チームオフィシャルトレーナーとして、村木良博トレーナー部会長を派遣。
アシスタントトレーナーとして茂木奈津子 Tr を派遣。
 - ⑤フェド杯／ワールドグループ II・1回戦・対セルビア戦
期日：平成21年2月7日（土）～2月8日（日）
会場：ベオグラード・アリーナ（セルビア）
チームオフィシャルドクターとして、三谷玄弥 Dr を派遣。
チームオフィシャルトレーナーとして、茂木奈津子 Tr を派遣
 - ⑥デ杯／アジアオセアニアゾーン・グループ I・2回戦・対中国戦
期日：平成21年3月6日（金）～8日（日）

会場：なみはやドーム（大阪）
チームオフィシャルドクターとして、奥平修三 Dr を派遣。
会場ドクターとして、中田研 Dr を派遣
チームオフィシャルトレーナーとして、中尾公一 Tr を派遣。

事業区分：11

事業名：ドクター・トレーナーの派遣

1) 国際大会・全国大会への派遣

①「全国小学生選手権大会」（東京・相模原総合グラウンドテニスコート）「全日本ジュニア選手権」（大阪・靱）「AIG OPEN」（有明）「世界スーパージュニア選手権」（大阪・靱）「全日本選手権大会」（有明）「東レ PPO」（東京・千駄ヶ谷）「全国レディース決勝大会」（昭島）日本ベテラン選手権大会（名古屋・東山公園テニスセンター）「イザワクリスマスオープン」（神戸）等各大会へ、トーナメントドクターおよびトレーナーを派遣した。後方支援病院としては、都内開催の大会については昭和大学附属豊洲病院に、大阪開催の大会については大阪厚生年金病院へ、名古屋開催の大会については名古屋第二赤十字病院へ依頼した。

なお、これら大会ドクターは、医事委員会委員・部会員のほか、聖マリアンナ医科大学、東京医科歯科大学、日本大学医学部、昭和大学医学部藤が丘病院、東京慈恵会医科大学、北里大学医学部、東海大学医学部、茨城医療大学、筑波大学大学院、群馬大学医学部、横浜市大医学部、杏林大学医学部、京都市立病院、大阪大学医学部、兵庫医科大学、武田総合病院、よしだ整形外科、大阪北通信病院、大阪府立母子保健総合医療センター、奈良県立医科大学、半田市民病院、北斗病院、名古屋大学、名古屋市立大学、愛知医科大学、岐阜大学、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、秋田大学医学部、山形大学医学部、河内総合病院、各医局のご協力を頂き、ローテーション体制で派遣した。また、大会トレーナーのみを派遣した大会は、「ジャパンオープンジュニア」（名古屋）「トヨタジュニア」（名古屋）「関東大学リーグ」（有明）「全国中学生選手権大会」（名古屋）「埼玉国際女子」（埼玉）「全日本ジュニア選抜室内選手権大会」（大阪・江坂）「全日本学生選手権大会」（有明）「全日本学生大学対抗王座決定試合」（岐阜）「全日本学生室内選手権大会」（京都）である。

2) 指導者講習会等への講師派遣

3) 「地域ジュニア選手トレーニング・測定合宿」へのドクター派遣

4) 第1回テニスメディカルスタッフ研修会の開催

平成21年3月14日（土）、メディカルセミナー開催日に第1回テニスメディカルスタッフ研修会を開催した。

会場：聖マリアンナ医科大学・別館8階 臨床講堂

事業区分：11

事業名：テニス障害の対策

1) ドクター・トレーナーによる全国のメディカルサポートネットワークについては、年間を通じて、協力ドクターの増加・充実を図った。トップ選手が、医事委員会委員が所属する医療機関に診療を受けに来るようになった。これは、別府委員長が月に1回国立スポーツ科学センターで診療を行っていることも影響しているものと思われる。

2) メディカルサポート小委員会では、デ杯・フェド杯直前のチーム合宿においてメディカルチェックを行い、結果を直ちに選手に知らせるとともに、把握したデータをコンピューターに入力し、合宿がどこで行われても過去のデータを活用出来るよう整備した。選手にデータを持たせ、海外で診療を受けることになった場合活用できる体制を作った。

また、ハンディ型「超音波診断装置」（ポータブルUS）を活用し、選手の傷害予防と早期発見、更には障害のある選手に対し適切な治療とリハビリメニューを処方した。

3) 「テニス・メディカルセミナー」の開催

①「第26回テニス・メディカルセミナー」

期日：平成20年7月19日（土）

会場：聖マリアンナ医科大学・別館 8 階 臨床講堂
講師：梅林 薫 大阪体育大学体育学部教授
テーマ：「試合に向けてのベストパフォーマンスを形成するために！」
～効果的な筋力・スタミナづくりとは？～

参加者：103 名

②「第 27 回テニス・メディカルセミナー」

期日：平成 21 年 3 月 14 日（土）

会場：聖マリアンナ医科大学・別館 8 階 臨床講堂

講師：田中 利和 キッコーマン総合病院 整形外科部長

堀内 邦康 S R I スポーツ株式会社 商品開発部(テニス開発担当)部長

テーマ：「ラケットと身体の良い関係」

～ラケットがテニスを変える～

参加者：125 名

4) JTA ナショナルコーチングワークショップにおける講演

期日：平成 21 年 1 月 5 日（月）

会場：ナショナルトレーニングセンター

講師：中田 研 大阪大学整形外科講師、日本テニス協会医事委員

テーマ：「メディカル面からみたジュニア選手の現状と対策」

5) 熱中症対策の実施

①ジュニアの大会にてセルフメディカルチェックシートの配付

次の大会にて事前にセルフメディカルチェックシートを配布し熱中症および外傷の予防に役立てた。

・全日本ジュニアテニス選手権大会

・関西ジュニアテニス選手権

②各大会を担当するトレーナーに対し、村木部会長から熱中症予防対策の徹底を具体的に指示し、審判・大会関係者へのアナウンスも依頼した。

6) A E D（自動体外式除細動器）の諸大会への配備

医事委員会が管理運用を担当している A E D 3 台を「デ杯」「フェド杯」「全日本ジュニア選手権大会」「全国中学生選手権大会」「AIG OPEN」「全日本ベテラン選手権大会」「全日本選手権大会」「全国レディース決勝大会」等の各大会に配備、フルに活用した。

事業区分：1 1

事業名：選手の痙攣防止対策の立案・提言

事業区分：1 1

事業名：スポーツビジョン(スポーツに必要な視覚能力)の啓蒙と普及

事業区分：1 1

事業名：トレーナー業務の整備・充実

1) 第 1 回テニスメディカルスタッフ研修会の開催

平成 21 年 3 月 14 日(土)、メディカルセミナー開催日に第 1 回テニスメディカルスタッフ研修会を開催した。ドクターも含め交流が深められた。

会場：聖マリアンナ医科大学・別館 8 階 臨床講堂

2) 日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

事業区分：1 1

事業名：地域メディカルサポート体制の整備

1) 全国のドクターの協力体制を強化するため、テニス・メディカルセミナーの資料や委員会会議事録を配付するとともに協力を求め、メディカルセミナー同日に開催の医事委員会にも参加を求めた。また、学会等の機会にテニスを愛好されるドクターに医事委員会の事業へのご協力をお願いした。

2) 日本体育協会の公認スポーツドクター養成講習会への推薦

事業区分：11

事業名：テニス医学情報の収集

- 1) 第10回国際テニス・スポーツ医学会議「STMS (Society For Tennis Medicine And Science) 10th international Congress」の開催
平成20年10月2日(木)～4日(土)にシェラトン都ホテル東京にて別府医事委員長を会長とし第10回国際テニス医学会議が開催された。15カ国300名あまりが参加し学術交流およびテニス交流、AIGオープン観戦と盛況のうちに無事終了した。海外からもBen Kibler氏、Marc Safran氏、Babette Pluim氏等多数の著名なドクターが参加、日本においてもテニススポーツ医学会を創設しワールドワイドな活動を行うことが将来の発展につながると感じさせられた。

事業区分：11

事業名：テニス障害の情報発信

- 1) JTAホームページ経由や、テニス・メディカルセミナー参加者等の方から医事委員会宛、テニス障害について照会・相談があったが、それぞれ具体的な回答を行うと共に、診療の必要な方については、医事委員会メディカルサポートネットワークを紹介し治療を受けて頂いた。
- 2) テニス誌5社に対し、主としてメディカルセミナーの情報を定期的に提供し活用頂いた。
- 3) テニス・メディカルセミナーのCD-ROMの頒布
今年度開催された第26回テニス・メディカルセミナーのCD-ROMを製作し、既制作済みのCD-ROMとともにテニス・メディカルセミナー開催時会場にて販売した。JTAホームページにてその内容を紹介しているが、全国各地からお申し込みを頂き、メディカルセミナーに時間・地理的に参加できなかった方々にも最新のスポーツ医学の知識とノウハウを提供することができた。

以上

テニスミュージアム委員会（委員長：小田 晶子）

事業区分：11

- 事業名：1. 歴史的テニス資料の収集・保存、そして調査・公開
2. AIG ジャパンオープンなどで歴史展示開催および各方面との協力
 3. 「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立に向けた基金の創設準備

事業内容：史資料所在情報を確認し、収集・保全に努めるとともに、オリンピック年にふさわしい企画をメディアに提案し、内外で調査活動を行ってAIG ジャパンオープン等での展示を充実させた。また、将来の「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立を目指し、「宮城黎子記念・JTA テニスミュージアム基金」の創設を準備した。

1. 歴史的テニス資料の収集・保存、そして調査・公開

- (1) テニス史資料の収集・整理とデータベース化
 - ① JTA 地下倉庫、事務局収納棚、有明コロシアムなどに保管されている史資料の整理を継続した。
 - ② トランクルームを年間契約し、収集したラケットなど物品資料、フィルムなど画像資料、書籍など文献資料を保管した。
 - ③ テニス専門誌バックナンバーの収集・整理を継続した。
 - ④ JTA 年表、テニス関連文献資料などのデータベース化を継続した。
 - ⑤ 史資料の所在情報を確認し、所有者を訪問して、貸し出しなどのご協力をお願いするとともに、寄贈・貸与を受けた。

(2) テニス史の調査と公開

- ① 「日本テニス国際化の時代」をテーマに調査し、資料を作成した。
- ② 体育・スポーツ史研究者の資料収集に協力して「戦前期日本庭球協会史料」を貸し出した結果、研究作業用にデジタル化された史料データを受贈することができた。
- ③ その他、各メディアからの問い合わせに対して調査・回答し、資料提供などの協力をした。

(3) テニス文化振興のための広報活動

- ① JTA 公式ホームページ内「テニスミュージアム」サイトで資料を公開した。
- ② 絵はがき、小冊子などミュージアム・グッズの販売を継続した。

2. AIG ジャパンオープンなどで歴史展示開催および各方面との協力

- (1) 上毛新聞社連載「山河遙か」の取材に協力し、「清水善造」、「佐藤次郎」の周辺情報を収集・提供した。
- (2) オリンピック・イヤー（北京）に関連して「日本の初メダル（熊谷、柏尾）」企画を提案したところ、NHK「おはよう日本」で採用・放映された結果、国立フィルムセンターに保存されていた大正期テニス・フィルムのデジタル映像を資料化することができた。
- (3) AIG オープン 2008 大会期間中にミュージアムの歴史展示として、特別展「日本テニス国際化の時代～熊谷・清水の拓いた道」、企画展「懐かしのウッドラケット大集合」、常設展「輝ける日本のテニス史」等を開催するとともに、「宮城黎子追悼コーナー」を設けた。
- (4) 日本初の銀メダルやウィンブルドン・オールカマーズ準優勝カップなどの主な展示品に損害保険をかけて事故に備えた。
- (5) AIG オープン 2008 大会プログラムに寄稿して、特別展資料とすることができた。
- (6) 展示会場に指導者研修ポイント受付、スタンプラリー最終ポイントを置くことにより、入場者の層を広げることができた。
- (7) 展示開催中の案内記事がテニス専門誌および《上毛新聞》、《毎日新聞》に掲載された。
- (8) 広報委員会のバックアップで、テニスミュージアム設立支援フリーマーケットを歴史展示会場前で行ったところ、関係者からの出品も多く、来場者の好評をえて、売上げを伸ばすことができた。
- (9) 有明クラブハウス内歴史展示コーナーに協力して陳列ケースを設置し、展示を充実させた。
- (10) 展示準備としての調査活動は国内および海外に広がり、相互協力ネットワークの構築が進んだ。

3. 「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立に向けた基金の創設準備

- (1) 指定寄付制度の一貫として、「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立を支援する基金の提案をした結果、日本テニス協会事業とすることが決まった。
- (2) 宮城黎子氏（初代委員長）の遺志を受け、「宮城黎子記念・JTA テニスミュージアム基金」として趣意書（要綱）を製作し、平成 21 年度から募金活動をスタートする準備をした。

以上

強化本部（本部長：小浦武志）

ナショナルチーム（ゼネラルマネージャー：小浦 武志）

事業区分：5

事業名：ナショナル代表チーム (Team Japan) の遠征

事業内容：①JOC 関連

(1) オリンピック（今年度は開催、A 代表）

日程：8月10日～8月17日

監督：竹内 映二 コーチ：増田 健太郎・杉山 芙紗子

トレーナー：馬木 純也 情報・分析：池田 亮 総務：田島 孝彦

選手：錦織 圭／杉山 愛／森田 あゆみ

結果：錦織…シングルス1回戦

杉山…シングルス1回戦、ダブルス2回戦 (w/森田)

森田…シングルス2回戦、ダブルス2回戦 (w/杉山)

(2) アジア大会（今年度開催なし、A 代表）

(3) 東アジア大会（今年度は開催なし、B 代表）

(4) ユニバーシアード（今年度開催なし、A 代表）

②デ杯関連（A 代表）

(1) デ杯グループ I、2R（4月インド戦）

日程：4月6日～15日

会場：RK Khanna Tennis Stadium（インド／ニューデリー）

監督：竹内 映二 コーチ：増田 健太郎 ドクター：奥平 修三

トレーナー：中尾 公一 ストリンガー：富岡 信人

マネージャー：横山 正吾

選手：錦織 圭／添田 豪／鈴木 貴男／岩渕 聡／伊藤 竜馬（補欠）

結果：●錦織 圭 6-7(2) 6-3 4-6 6-2 3-6 ○ロハン・ボパンナ

●添田 豪 6-4 7-6(5) 4-6 4-6 6-8 ○プラカッシュ・アムリトラジ

●岩渕 聡 6-7(2) 6-3 3-6 4-6 ○マヘシュ・ブパシ

／鈴木 貴男 /リーンダー・パエス

○錦織 圭 7-5 6-1 ●マヘシュ・ブパシ

○岩渕 聡 6-4 4-6 6-4 ●リーンダー・パエス

※2勝3敗で敗退、アジア／オセアニアゾーン・グループ1残留が決定。

③フェド杯関連（A 代表）

(1) フェド杯 2R（4月フランス戦）

日程：4月26日・27日 会場：有明コロシアム

監督：植田 実 コーチ：駒田 政史 ドクター：三谷 玄弥

トレーナー：村木 良博 アシスタントトレーナー：茂木 奈津子

情報・戦術：池田 亮 ストリンガー：富岡 信人

マネージャー：田島 孝彦

選手：杉山 愛／中村 藍子／森田 あゆみ／藤原 里華

結果：●森田 あゆみ 0-6 2-6 ○アメリ・モレスモ

●杉山 愛 1-6 5-7 ○ビルジニ・ラザノ

●杉山 愛 1-6 4-6 ○アメリ・モレスモ

●中村 藍子 4-6 4-6 ○ビルジニ・ラザノ

○森田 あゆみ 6-1 6-3 ●ナタリー・ドシー

／杉山 愛 /アリーゼ・コルネ

※1勝4敗で敗退、ワールドグループ II 残留が決定。

(2) フェド杯 1R (2月セルビア戦)

日程：2月7日・8日 会場：セルビア・ベオグラード

監督：植田 実 ヒッティングパートナー：寺地 貴弘

ドクター：三谷 玄弥 トレーナー：茂木 奈津子

ストリンガー：富岡 信人 情報戦略：池田 亮

マネージャー：田島 孝彦

選手：杉山 愛／森田 あゆみ／中村 藍子／藤原 里華

結果：●杉山 愛	4-6 4-6	○アナ・イバノビッチ
●森田 あゆみ	0-6 1-6	○エレナ・ヤンコビッチ
●杉山 愛	3-6 2-6	○エレナ・ヤンコビッチ
●森田 あゆみ	1-6 2-6	○アナ・イバノビッチ
○中村 藍子	3-6 7-5 ret	●エレナ・ヤンコビッチ
／藤原 里華		／アナ・ヨバノビッチ

※1勝4敗で敗退、ワールドグループ II プレーオフは4月25・26日にポーランドとアウエーで対戦

④18・U 関連

(1) ジュニアグランドスラム

・全仏オープンジュニア遠征

日程：5月14日～6月9日

コーチ：加藤 純 選手：奈良 くるみ／山外 涼月／土居 美咲

結果：49th Trofeo Bonfiglio (イタリア G1、5/19～25)

奈良：シングルスベスト8

山外：シングルス 2R、ダブルス 2R (w/土居)

土居：シングルス 1R、ダブルス 2R (w/山外)

44th Astrid Bowl Charleroi (ベルギー G1、5/26～31)

奈良：シングルスベスト4

山外：シングルスベスト4、ダブルス 2R

(w/Lalami Laaroussi (MAR))

土居：シングルス 1R

Roland Garros Junior (フランス GA、6/1～8)

奈良：シングルス 1R、ダブルス 2R (w/Lykina (RUS))

山外：シングルス 1R

土居：シングルス 1R、ダブルス 1R (w/井上)

・ウィンブルドンジュニア遠征 (※石津のみトヨタジュニア遠征)

日程：6月17日～7月7日 (事前合宿 (NTC)：6月11～13日)

コーチ：村上 武資

選手：守屋 宏紀／江原 弘泰

奈良 くるみ／山外 涼月／土居 美咲／井上 雅／石津 幸恵

結果：ITF Juniors - Roehampton (イギリス G1、6/22～27)

守屋…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/江原)

江原…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/守屋)

山外…シングルス 2R、ダブルス 2R (w/Borecka (CZE))

土居…シングルスベスト8、ダブルス 1R (w/Gorny (RSA))

石津…シングルス 2R、ダブルス 1R (w/Mulsap (THA))

The Junior Championships (イギリス GA、6/28～7/6)

守屋…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/Siributwong (THA))

江原…シングルス 2R、ダブルスベスト8 (w/Crepaldi (ITA))

奈良…シングルス 1R、ダブルスベスト 4 (w/土居)
山外…シングルス 2R、ダブルス 1R (w/井上)
土居…シングルス 1R、ダブルスベスト 4 (w/奈良)
井上…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/石津)
石津…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/Dabrowski (CAN))

・全米オープンジュニア遠征

日程：8月20日～日（奈良のみ8月16日～）

コーチ：岩本 功/加藤 純

選手：奈良 くるみ/山外 涼月/土居 美咲

結果：US Junior International Hard Court (米国 G1、8/18～23)

奈良…シングルス優勝、ダブルスベスト 8 (w/小山)

Canadian Open Junior (カナダ G1、8/24～30)

奈良…シングルス優勝、ダブルス優勝 (w/土居)

山外…シングルス 3R

土居…シングルス 3R、ダブルス優勝 (w/奈良)

US Open Junior (アメリカ GA、8/31～9/7)

奈良…シングルス 3R、ダブルスベスト 8 (w/土居)

山外…シングルス 1R

土居…シングルス 1R、ダブルスベスト 8 (w/奈良)

・全豪オープンジュニア遠征

日程：1月14日～29日

コーチ：谷澤 英彦

選手：江原 弘泰/井上 雅/関口 周一 (2週目のみ)

結果：Optus Nottingham International (豪州 G1、1/17～23)

江原：シングルスベスト 8、ダブルス 2R (w/関口)

井上：シングルス 3R、ダブルスベスト 4

(w/Lertcheewakarn (THA))

Australian Open Junior Championships (豪州 GA、1/25～31)

江原：シングルス 1R、ダブルス 1R (w/関口)

関口：シングルス 2R、ダブルス 1R (w/江原)

井上：シングルスベスト 8、ダブルス 2R (w/山外)

(2) アジア春季遠征

・U18 インド遠征

日程：4月5日～13日

コーチ：谷澤 英彦

選手：守屋 宏紀/関口 周一/山外 涼月/井上 雅

結果：Asian Juniors B-1 Closed Tournament (4/7～12、インド GB1)

守屋…シングルス準優勝、ダブルスベスト 8 (w/関口)

関口…シングルス 3R、ダブルスベスト 8 (w/守屋)

山外…シングルスベスト 8、ダブルス準優勝 (w/井上)

井上…シングルスベスト 4、ダブルス準優勝 (w/山外)

(3) アジア秋季遠征

※中止

⑤16/U 関連

(1) Jr デ杯アジア予選

日程：4月26日～5月5日

監督：谷澤 英彦 選手：内山 靖崇／斉藤 秀／喜多 元明

結果：Junior Davis Cup Asia/Oceania Qualifying (4/28～5/3、インド)

ラウンドロビン ○ 2-1 ●韓国
ラウンドロビン ○ 3-0 ●インドネシア
ラウンドロビン ○ 2-1 ●中国
準々決勝 ○ 3-0 ●タイ
準決勝 ○ 3-0 ●チャイニーズ台北
決勝 ● 0-2 ○インド

※準優勝となり、決勝大会進出決定

(2) Jr フェド杯アジア予選

日程：5月1日～12日

監督：村上 武資 選手：石津 幸恵／牟田口 恵美／大前 綾希子

結果：Junior Fed Cup Asia/Oceania Qualifying (5/5～10、タイ)

ラウンドロビン ○ 3-0 ●香港
ラウンドロビン ○ 3-0 ●ニュージーランド
ラウンドロビン ○ 2-1 ●チャイニーズ台北
準々決勝 ● 1-2 ○韓国
5～8位決定戦 ○ 2-1 ●インド
5・6位決定戦 ● 1-2 ○オーストラリア

※6位となり、アジア／オセアニア予選敗退。

(3) Jr デ杯世界大会

日程：9月17日～30日（練習会期間を含む）

監督：谷澤 英彦 選手：竹内 遥丞／喜多 元明／近藤 大基

結果：Junior Davis Cup by BNP Paribas Finals (9/23～28)

ラウンドロビン ● 0-3 ○アルゼンチン
● 1-2 ○ハンガリー
○ 3-0 ●エジプト
9～12位決定戦 ● 1-2 ○ペルー
11・12位決定戦 ○ 2-1 ●ラトビア

※16か国中11位

(4) トヨタ Jr 遠征

・トヨタジュニア遠征（タイ）

日程：6月26日～7月14日

コーチ：岩本 功

選手：近藤 大基／大塚 拳之助／伊藤 夕季／小関 みちか

結果：ITF Thailand Open（タイ G4、6/30～7/5）

近藤…シングルス 3R、ダブルス 1R (w/Lam(HKG))

大塚…シングルス予選 1R

伊藤…シングルス準優勝、ダブルス優勝 (w/小関)

小関…シングルス 3R、ダブルス優勝 (w/伊藤)

ITF Mercedes Cup（タイ G4、7/7～13）

近藤…シングルス 2R、ダブルス 2R (w/林)

大塚…シングルス予選 2R、ダブルスベスト 8

(w/Somroop(THA))

伊藤…シングルス 3R

小関…シングルス 3R

・トヨタジュニア遠征 (オーストラリア)

日程：7月3日～19日

コーチ：櫻井 準人

選手：喜多 元明／綿貫 敬介／大前 綾希子

結果：Darwin ITF (オーストラリア G3、7/7～12)

喜多…シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/綿貫)

綿貫…シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/喜多)

大前…シングルス 3R、ダブルス 2R (w/美濃越)

Northern Territory ITF (オーストラリア G3、7/13～18)

喜多…シングルス 3R、ダブルスベスト 8 (w/綿貫)

綿貫…シングルス 3R、ダブルスベスト 8 (w/喜多)

大前…シングルスベスト 8、ダブルス優勝 (w/美濃越)

(5)南米遠征

日程：2月9日～3月31日

コーチ：加藤 純／井本 善友

選手：江原 弘泰／関口 周一／大前 綾希子／牟田口 恵美

結果：Copa Milo - Chile Deportes 2009 (チリ G2、2/16～22)

江原…シングルス 2R、ダブルス優勝 (w/関口)

関口…シングルス 2R、ダブルス優勝 (w/江原)

大前…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/牟田口)

牟田口…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/大前)

30th Argentina Cup (アルゼンチン G2、2/23～28)

江原…シングルス 3R、ダブルス 2R (w/関口)

関口…シングルス 3R、ダブルス 2R (w/江原)

大前…シングルス 2R、ダブルスベスト 4 (w/牟田口)

牟田口…シングルスベスト 4、ダブルスベスト 4 (w/大前)

Uruguay Bowl (ウルグアイ G2、3/2～7)

江原…シングルス 1R、ダブルスベスト 8 (w/関口)

関口…シングルスベスト 4、ダブルスベスト 8 (w/江原)

大前…シングルスベスト 4、ダブルスベスト 4 (w/牟田口)

牟田口…シングルス 2R、ダブルスベスト 4 (w/大前)

29th Asuncion Bowl (パラグアイ G1、3/9～14)

江原…シングルス 3R、ダブルス 2R (w/関口)

関口…シングルス 2R、ダブルス 2R (w/江原)

大前…シングルス 2R、ダブルス 2R (w/牟田口)

牟田口…シングルス 3R、ダブルス 2R (w/大前)

Banana Bowl (ブラジル G1、3/16～22)

江原…シングルス 2R

関口…シングルス 1R、ダブルス準優勝 (w/内山)

大前…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/牟田口)

牟田口…シングルス 1R、ダブルス 1R (w/大前)

26th Copa Gerdau (ブラジル GA、3/23～29)

江原…シングルス 2R

関口…シングルス 3R

大前…シングルスベスト 8

牟田口…シングルスベスト 4

⑥14/U 関連

(1)ワールド Jr アジア予選 boys

日程：4月10日～20日

監督：櫻井 準人 選手：村松 勇紀／高田 航輝／西岡 良仁
 結果：World Junior Tennis Asia/Oceania Qualifying (4/14～19、中国)
 ラウンドロビン ○ 3-0 ●インドネシア
 ラウンドロビン ● 1-2 ○チャイニーズ台北
 ラウンドロビン ● 1-2 ○韓国
 9～12位決定戦 ○ 3-0 ●タジキスタン
 9・10位決定戦 ● 1-2 ○タイ
 ※10位となり、アジア／オセアニア予選敗退。

(2) ワールド Jr アジア予選 girls

日程：4月18日～27日
 監督：右近 憲三 選手：小和瀬 望帆／尾崎 里紗／辻 佳奈美
 結果：World Junior Tennis Asia/Oceania Qualifying (4/21～26、中国)
 ラウンドロビン ○ 3-0 ●スリランカ
 ラウンドロビン ○ 3-0 ●韓国
 ラウンドロビン ● 1-2 ○ウズベキスタン
 準々決勝 ○ 3-0 ●インドネシア
 準決勝 ● 1-2 ○中国
 3・4位決定戦 ● 0-3 ○オーストラリア
 ※4位となり、決勝大会進出。

(3) ヤングスター遠征

(4) ワールド Jr 世界大会 (アジア予選に勝った場合)

・U14 ヨーロッパ遠征

日程：7月10日～8月11日 (男子は7月28日まで)

コーチ：濱浦 貴光／右近 憲三

選手：高田 航輝／村松 勇紀／尾崎 里紗／小和瀬 望帆／小山 楓

結果：Windmill Cup Carl Gantois (オランダ、7/14～20)

高 田…シングルス 2R／2R コンソレ 2R、ダブルス準優勝

(w／村松)

村 松…シングルス 1R、ダブルス準優勝 (w／高田)

尾 崎…シングルスベスト 8、ダブルスベスト 8 (w／小山)

小和瀬…シングルスベスト 8、ダブルス 1R (w／ダニエル)

小 山…シングルス 1R、ダブルスベスト 8 (w／尾崎)

Le 13/14 des Hauts-de-Seine (フランス、7/21～26)

高 田…シングルス 1R／1R コンソレ準優勝、

ダブルス優勝 (w／村松)

村 松…シングルス 1R／1R コンソレベスト 8、

ダブルス優勝 (w／高田)

尾 崎…シングルスベスト 4、ダブルス 2R

(w／Abduraimova (UZB))

小和瀬…シングルスベスト 4、ダブルス 2R (w／小山)

小 山…シングルス準優勝、ダブルス 2R (w／小和瀬)

31. Tennis Jüngsten Cup (ドイツ、7/28～8/2)

尾 崎…シングルス 4回戦、ダブルスベスト 4

(w／小和瀬)

小和瀬…シングルス 4回戦、ダブルスベスト 4 (w／尾崎)

小 山…シングルス 2回戦、

ダブルス 1R (w／Abduraimova (UZB))

World Junior Tennis Finals (チェコ、8/4～9)

ラウンドロビン ● 1-2 ○ウクライナ

ラウンドロビン ● 0-3 ○ベルギー
 ラウンドロビン ○ 3-0 ●ブラジル
 9～12位決定戦 ● 1-2 ○中国
 11・12位決定戦 ○ 2-1 ●ボリビア
 ※最終順位は11位

(5) ATF遠征

・U14 韓国遠征

日程：9月5日～13日（練習会期間を含む）

コーチ：櫻井 準人

選手：斉藤 貴史／鳴海 碧理／西岡 良仁／吉田 元樹

結果：Seogwipo Asian 14U Series week2（韓国ATF14/U、9/8～12）

斉藤…シングルス 20位（2勝3敗）

鳴海…シングルス 12位（2勝3敗）

西岡…シングルス 5位（4勝1敗）

吉田…シングルス 15位（2勝3敗）

事業区分：5

事業名：オリンピックサポート体制の強化

事業内容：2008年6月9日付けランキングにて出場獲得権が得られる期間中迄は、NTCコーチやアスレティックトレーナー／ストレングス・コンディショニングコーチの派遣を積極的に行い、ツアー帯同にてテクニカルサポート体制を強化する

・杉山と森田が参加する3大会に帯同し、ダブルスの強化を図った他、出場が見込まれた添田にも帯同し、サポートを行った。

事業区分：5

事業名：ナショナル代表チーム・ナショナル代表候補およびナショナルメンバーのキャンプ

事業内容：原則として代表遠征は事前キャンプを行なうものとし、予算も代表遠征に含まれるものとする。

デ杯においてはすべて事前合宿を行うものとし、フェド杯ではツアー遠征中のケースが多いため、スケジュールの許す範囲で（ホームゲームで）合宿を行うものとする。

①デビスカップ、フェドカップの事前合宿

②ユニバーシアードチームの合宿

③ジュニア海外遠征の事前合宿

④ジュニア国別対抗戦の選考合宿

⑤年齢別ジュニア強化合宿

⑥修造チャレンジ・トップジュニアキャンプ（共催）等の国内合宿を実施

事業区分：5

事業名：国内遠征へのコーチ派遣

事業内容：アフタージュニア期のプレーヤーたちに対しては、国内での活動をサポートする。ツアーコーチおよびスパート期を指導するコーチを育成も兼ね、「JPTAとの協力事業」として新しくスタートする。

・国内開催の国際大会のいくつかにはナショナルコーチを派遣し、A・B代表、ユニバチーム、ジュニアナショナルチームを対象に視察・練習会等を実施した。

事業区分：5

事業名：低年齢プレーヤーの運動能力開発と基礎技術の向上

事業内容：一貫指導体制推進委員会との共同作業により、ゴールデンエイジの原理原則に基づきトレーニング指導及び基礎技術の徹底を行う。

- ・一貫指導推進委員会と共同して、「ナショナルメソッド地域伝達強化合宿」を実施し、小浦 GM と S&C コーチを各地域に派遣した。
 - 北海道：10/24（金）～26（日）、あつまスタードーム
 - 東北：9/26（金）～28（日）、北野田公園テニスコート
 - 北信越：11/14（金）～16（日）、南部屋内運動場
 - 関東：12/12（金）～14（日）、アポロコーストテニスクラブ
 - 東海：12/19（金）～21（日）、岐南町スポーツセンター
 - 関西：10/18（土）・19（日）、アオノテニスクラブ
 - 中国：9/13（土）～15（月・祝）、広島県立びんご運動公園
 - 四国：1/10（土）～12（月・祝）、鳴門運動公園テニス場
 - 九州：9/5（金）～7（日）、博多の森テニスコート

事業区分：5

事業名：ジュニア選手を取り巻く環境向上のための啓蒙活動

- 事業内容：①ジュニア大会や合宿、セミナーを実施する際、両親やコーチ、プレーヤーに対してのミーティングを開催する。（大会運営サイドと合同）
- ・トヨタジュニア選手・コーチ・ファミリーミーティングに小浦 GM、村上ジュニアフェドカップ監督を派遣
 - ・全国選抜ジュニアセミナーに櫻井ワールドジュニア男子監督を派遣
 - ・全国小学生ファミリーミーティングに植田フェドカップ監督を派遣
 - ・中牟田杯教育プログラムに村上ジュニアフェドカップ監督を派遣
- ②ジュニア憲章を広める。
- ③ジュニアのためのルールブック（審判委員会）を広く活用。

事業区分：5

事業名：医科学チーム（医事委員会・スポーツ科学委員会）との連携

- 事業内容：①トレーニング合宿を実施（春期・秋期）することにより正しいトレーニング方法の理解を深め、心身共に追い込むことを目的とする。
- ・予算の都合上トレーニング合宿は実施できなかったが、各年代の合宿で医事委員会やスポーツ科学委員会の協力を仰ぎ、トレーニングについての指導を行った。
- ②アンチドーピングコントロールの意識付け
- ・いくつかの合宿において JADA の協力のもと、ドーピングに関する講習会を行った。

事業区分：5

事業名：全国各地にて活躍するコーチの連携による強化

- 事業内容：9 地域、都道府県のコーチと連携し強化に取り組む。一貫指導体制の構築。情報の提供。
- ・前述の「ナショナルメソッド地域伝達強化合宿」の対象者を、①参加するジュニアのホームコーチ、②地域代表コーチ、③都府県代表コーチ、④地域 S&C コーチ、⑤その他、として連携を図った。

事業区分：5

事業名：競技力向上を目的としたコーチ及びトレーナーの育成

- 事業内容：国内競技力の向上とコーチ及びトレーナー育成への長期計画。国際舞台の現場に新しい人材を起用し、指導者の育成をすることにより、長期的な育成基盤を作っていく。将来は一貫指導体制推進委員会と共同で、S 級ライセンス制度につなげていく。
- ・S 級講習会でナショナルチームが講義を担当した他、受講生と共に外部講師の講義に出席するなど、普及本部と連携してコーチ育成を図った。

事業区分：5

事業名：ジュニア大会を取り巻く環境の改善

事業内容：ジュニア大会および大会スケジュールの見直し。大会の配置や選抜方法について、国内外の広い視野から見直していく。国際大会委員会、強化企画委員会との連携。
・強化企画委員会会議にナショナルチーム所属の委員も出席し、発言等を行った。

事業区分：5

事業名：コーチ派遣事業の実施（JPTA との協力）

事業内容：JPTA との共同で「国内遠征へのコーチ派遣」事業を実施する。

・国内開催の国際大会のいくつかにナショナルコーチを派遣し、A・B代表、ユニバチーム、ジュニアナショナルチームを対象に視察・練習会等を実施した。

事業区分：5

事業名：ATF 諸国との連携によるアジアテニスの振興

事業内容：ATF ならびに ITF との連携をより速やかに行い、情報収集につとめる。特に、ジュニア大会への積極的アプローチ、また日本から新しい提案をしていくことでアジアテニスに貢献していく。

・アジアコーチカンファレンスに櫻井ワールドジュニア男子監督を派遣し、情報の収集、共有に努めた。

事業区分：5

事業名：ワンコイン制度の確立

事業内容：NTC 運営基金の設立。デ杯、フェド杯をはじめとするナショナルチームは、全国 47 都道府県を代表するチームであり、サポートしているという相互意識を深めていく。

・小浦 GM を中心に、「ナショナルメソッド地域伝達強化合宿」やジュニア大会でのミーティングでの啓蒙を図った。

事業区分：5

事業名：ナショナルチームをサポートするスポンサーの獲得

事業内容：NTC の開校も重なり、さまざまな強化の部門にスポンサーからのサポートが必要となる。都道府県協会にご理解をいただき、また多くのテニスファンからサポートしていただけるような募金活動を実施する。

・活動は行ったが、新規スポンサーの獲得には至らなかった。

以上

NTC 運営委員会（委員長：櫻井 準人）

1. 事業区分：10

(1) NTC の運営管理と効果的な施設活用

- ① 屋内テニスコート 稼働率 96%
- ② JISS との連携（病院、リハビリ利用）、タレント発掘事業への協力
屋内レッドクレイコートの活用

2. 事業区分：5

(1) ナショナル代表選手遠征事前のキャンプ

- ① デビスカップ 2 回戦事前合宿 日本 2 - 3 インド
- ② ワールドジュニアアジア予選事前合宿 男子 10 位
- ③ ジュニアデビスカップアジア予選事前合宿 2 位
- ④ ジュニアフェドカップアジア予選事前合宿 6 位
- ⑤ U14 ヨーロッパ遠征 & 世界大会事前合宿 女子 11 位

- ⑥ ジュニアデビスカップ世界大会事前合宿 11位
- 3. 事業区分：5
 - (1) ナショナルジュニア強化合宿 U14男子&女子 年間13回の合宿
- 4. 事業区分：5
 - (1) 地域選手、指導者に対する合宿（ナショナルメソッド地域伝達合宿）
 - ① 九州 9月5～7日
 - ② 中国 9月13～15日
 - ③ 東北 9月26～28日
 - ④ 関西 10月18～19日
 - ⑤ 北海道 10月24～26日
 - ⑥ 北信越 11月14～16日
 - ⑦ 関東 12月12～14日
 - ⑧ 東海 12月19～21日
 - ⑨ 四国 1月10～12日

以上

強化企画委員会（委員長：西村 覚）

強化企画委員会は、選手の育成強化を図るための、長期及の強化計画策定を目的として、下記の事業を実施した。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：関係組織との連携による強化施策の検討

事業内容：高体連・中テ連・学連及び地域テニス協会との連携のもと、長期的な視点に基づく強化施策の検討を行った。具体的には、1. 高体連との協力によるインターハイと全日本ジュニアの連携。2. 中体連加盟に向けた中学生期のトーナメントの再編。3. ユニバ強化を中心とする学連との連携に基づくアフタージュニア期の強化。4. 実業団、体協、国体との連携による強化。5. 地域・都道府県協会との連携。6. ITF、ATFとの連携による海外トーナメントの活用。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：発育発達段階に応じた強化施策の検討

事業内容：選手の年齢に伴う発育発達に応じた強化方針を下記の各ステージにおける課題の分析と強化具体策の検討を行った。(1) 全年齢段階 (2) 強化期＝(アフタージュニア) (3) プレ強化期＝高校 (4) 第2教育期＝中学 (5) 第1教育期＝小学校以下。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：ジュニア育成環境整備プロジェクト

事業内容：ナショナルチーム、一貫指導推進委員会、ジュニア大会委員会と連携し、国内におけるジュニア育成環境の問題点の把握を行い、国内におけるトーナメントのあり方について検討を行った。年齢区分の変更などについて意見をまとめたが、他委員会との間で最終的な合意には至らなかった。検討を進める中で、普及と強化の連携、地域性に配慮した地域間の連携、ランキングシステムを機能させる為のオープン大会創設の必要性などの課題を明確にした。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：ジュニア選手の海外派遣、遠征のあり方についての検討

事業内容：海外遠征派遣選手選考方法における問題点についてナショナルチームと検討を行い、ジュニア大会委員会と共に改善点を検討した。自己負担による選手の海外遠征につい

て、エンドースメント発行の手続き等について検討を行い、特に長期海外に在住する選手のエンドースメント発行の手続きについて変更した。コミュニケーションマネージャー、危機管理委員会と連携し海外遠征の安全に関する問題の検討し、適宜遠征自粛勧告を行った。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：テニスコートサーフェスに関する問題の検討

事業内容：現在砂入り人工芝が中心となった国内大会におけるコート・サーフェスの将来的あり方について、強化の面から検討を行った。海外のトーナメントにおいてはハードコート・クレイ・アンツーカーが主流であることから、強化という点では国内においてもこれらのサーフェスでもプレーできることが望ましいという結論に達した。その上で、高体連、学連と連携し、今後国体やインターハイの開催に合わせて、これらのサーフェス活用の検討を提言出来るよう努力することを確認した。

事業区分：6〔テニスに関する競技規則及びアマチュア規定の制定並びにテニスランキングの作成〕

事業名：ジュニア選手に関わる各種規定の方向性の検討

事業内容：JPINの導入にむけて、ジュニア登録システム及びランキングシステムのあり方の検討を行った。その結果、将来的には登録システム、ランキングシステムの構築は必要であるとの結論に達した。しかしながら、その為には地域間の特性を考慮や、試合方法の統一、オープン大会の開催など事前に必要な課題を明確にした。

事業区分：11〔その他、この法人の目的を達成するために必要な事業〕

事業名：競技力向上に関する調査の実施

事業内容：都道府県における強化活動の実態および、都道府県体育協会による国体強化事業とNTC活動の連携状況の把握を目的とする聞き取り調査を、ジュニア大会委員会を通じて実施した。

事業区分：11〔その他、この法人の目的を達成するために必要な事業〕

事業名：会議の開催

事業内容：企画会議を下記日程で開催した。

平成19年8月11日(月)

韃テニスセンター 会議室

以上

スポーツ科学委員会 (委員長：梅林 薫)

事業区分：5

事業名：ナショナル代表、ナショナルメンバー(候補選手)に対してのスポーツ科学的サポート(JISS委託研究)

事業内容：強化指定選手に対してJISS(国立スポーツ科学センター)とNTCを中心に体力の分析そしてトレーニング指導を行った。今年は、JISS委託研究の助成を受けて、13歳以下のジュニア選手やユニバーシアード候補選手に対して専門的体力測定およびトレーニングプログラムの作成とその指導を行った。テニス競技における測定とトレーニングをいっしょにした形のより実践的な研究およびトレーニング指導ができ、今後、このような『測定&トレーニング』の考え方を啓蒙していくことの重要性が示唆された。また、ワールドジュニア大会(チェコ)も視察を行い、コンディショニングや技術・戦術面からの日本選手の課題とその方向性も確認でき、今後のトレーニングの課題が確認された。

事業区分：5

事業名：デビスカップ、フェドカップ、および国内大会の戦術・ゲーム分析

事業内容：デビスカップ、フェドカップの戦術・ゲーム分析を行った。戦術担当委員により、VTRカメラを用いて、試合撮影を行い、監督・コーチに対して、得られた映像や分析データの即時フィードバックによる科学的サポートを行った。JISSのTSCサポートもあり、充実したサポートができた。今後は、分析データの情報公開、録画済メディアの管理の一元化などを積極的におこなっていきたいと考えている。

事業区分：5

事業名：スポーツ科学・コーチングセミナーの開催（ナショナルコーチングワークショップの開催）

事業内容：競技力向上をテーマとして、2009年1月5日（月）、6日（火）の2日間、ナショナルコーチングワークショップを開催した。100名ほどの参加者があり、ナショナルからの報告や、高体連、中体連、大学との連携が図られ、充実した内容のワークショップであった。報告書の作成も行われ、今後のHPなどを通して、情報の発信を行っていくことが確認された。

事業区分：5

事業名：ジュニア選手の戦術、ゲーム分析について（ヨネックス財団助成金対象事業）

事業内容：全日本ジュニアテニス選手権（靱テニスセンター）、2008 Seogwipo Asian 14U Series-week2（済州島、韓国）、ジュニアデビスカップ（サン・ルイス・ポトシ：メキシコ）、オーストラリアオープンジュニアの4大会についてゲームを視察し、戦術分析を行った。年齢別にみた特徴の把握、日本のジュニアレベルの戦術面の問題点などの基礎資料を得ることを目的とし、今回の視察において、日本のジュニアの強化の方向性が確認された。

事業区分：5

事業名：NTCとの連携事業

事業内容：NTCとスポーツ科学との連携において、数回のミーティングを行い、また強化選手の合宿の視察、分析を通して、連携の意義と必要性、そして今後の課題が確認できた。

事業区分：5

事業名：インフラ整備

事業内容：ホームページの改編作業やITF発行の報告書の翻訳などの事業を積極的に行った。また従来から続けている、地域のスポーツ医科学の施設の調査も行い、報告書も作成し、より充実したものとなった。今後も地域への情報発信を積極的に行いながら、インフラ整備を充実していくことの重要性が示唆された。

以上

育成強化資金委員会（委員長：橋本 有史）

事業区分：11

事業名：ワンコイン制度の定着と発展

事業報告：「ワンコイン制度」推進の基本的考え方として、①定着・②信頼・③発展の3つの目標を立て下記の活動を行った

① ワンコイン制度の実施と確実な運営

ワンコイン制度を平成20年4月1日より開始した。各大会にワンコイン制度が確実に導入されているかどうか、それぞれの大会ホームページに掲載されている要項等から確認した。また、半期ごとの報告書の提出を受け実施状況を確認した。結果平成21年4月23日の段階でのワンコイン収入は1371万円となり予算に対し91.4%の達成となっている。報告書が未着

の主催者がこの段階で若干あり最終的には94%程度の達成が見込まれる。ただし、JTA決算は4月15日の段階で締めきっているため収入額13,253,400円、内未収入金計2,250,350円となっており、この後に報告されたワンコイン収入は平成21年度収入として計算される。予算と実績の乖離は今後分析の予定である。

②ワンコイン制度への信頼の醸成

半期を終了したところで、NTC、ナショナルチームの半期の活動も含め、半期報告書を作成した。この報告書は各地域、都府県に送付すると共に要請のあった地域には出向いて説明を行った。また、NTCを使用する選手より制度へのお礼のメッセージを頂き、報告書に載せた。通期の報告書は平成20年度決算が承認されたあと本年6月に作成の予定である。

③ワンコイン制度の発展

ワンコイン制度の対象の拡大により、ワンコイン収入の増大の計画であったが、本年度においては明らかな成果はあがっていない。

1) 傘下団体、協力団体への協力要請

全日本レディースの大会へのワンコイン制度の適用を日本女子テニス連盟の協力にて行いまとまった収入を得た。

2) JTA、地域、都府県の普及大会等への適用の検討

平成20年度対象外となった、地域、都府県の普及大会等(カテゴリーⅡ)やJTAの公認するベテランF,G,H大会等について、委員会にて検討を行ったが慎重論もあり平成22年度の実施に向け準備を進めることとなった。

3) JTAの大会に繋がる市区町村主催大会への適用の検討

市区町村協会については、19年度委員会の結論として「条件が整ってから検討する」となっている。本年は市区町村テニス協会の実態について調査の予定であったが調査には至っていない。

4) この制度の趣旨に賛同する団体、主催者への協力要請

この課題についても目立った成果は上がらなかったが、いくつかの団体より自主的な形での協力を得た。平成21年度の課題としたい。

事業区分：11

事業名：クラブJTA見直しおよび新たな運営の企画

事業報告：クラブJTAの抜本的な見直しについては成果を上げることができなかった。平成21年度委員会に課題として委ねたい。ジャパンオープンおよび全日本選手権、デ杯、フェド杯を通じての従来の活動は継続しており、約675万円の収入を得、また平成20年3月31日において735人の会員が在籍している。なお、平成12年の発足以来特別寄付を除き、5640万円の累計収入を得ている。

以上

普及本部（本部長：飯田 藍）

一貫指導体制推進委員会（委員長：井上喜代志）

事業区分：1〔テニスの普及及び指導〕

事業名：都道府県における、発掘事業促進施策の策定事業

事業内容：1) 全国の一貫指導体制(人員配置)は、ほぼ完了した。

2) 低年齢テニスプログラムの策定は、教育部会の職掌事項であるが、3月開催されたコーチーズカンファレンスにて、ITFのプレイ&ステイの復唱講習及び日本で確立されているその指導法など実演し、次年度JTA独自の低年齢プログラム策定への足がかりとした。

・マナーキッズテニスプロジェクトに関しては、これをNPO-MKPと業務委託契約を交わし、JTAの低年齢プログラムとのすみわけを完了した。

事業区分：1〔テニスの普及及び指導〕

事業名：中学校、高等学校指導者に対する支援事業

事業内容：年度当初の事業計画で予定していたが、予算の関係で具体的な事業展開は出来なかった。派遣事業については、次年度以降は、地域、高体連、中体連と関連があるジュニア委員会で検討する。

事業区分：1〔テニスの普及及び指導〕

事業名：日本中体連加盟に関する促進事業

事業内容：1)平成23年日本中体連加盟を見込み、6月(財)日本中体連から提案があった「夏季大会競技加盟申請」に対応し、各地域中体連、各都府県中体連に、それぞれのテニス協会が働きかけを行うよう依頼した。6地域からの申請書の提出を目標としたが、残念ながら目標に達せず。

2)加盟促進運動を展開するための具体的な施策の支援となる促進運動のマニュアルを作成した。

3)次年度、JTA内に中体連対策委員会を設置し、今までの普及を主眼とした社会体育系の体質から中体連への加盟を見越して、加盟した都道府県、学校体育系の体質にシフトした施策を進めることとした。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：中牟田教育プログラム実地研修合宿事業

事業内容：1)NTC運用開始に伴い、本委員会の委員でもある、各地域を代表する「地域代表コーチ」の参加を得て、ナショナルチームとの最新の情報を共有する事業を実施した。

2)3日間の「教育プログラム」の具体的内容は、JTAのホームページに掲載。

3)次年度は、普及本部、強化本部、九州テニス協会、ナショナルチームとも連携を取りながら、新設のジュニア委員会が継承し統括する。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：選抜ジュニア会場における教育プログラム事業

事業内容：1)本事業はTTCの要請に基づき実施される。本大会会場における教育プログラムの実施にコーディネーターとして協力した。

2)本年度は、大会期間を利用して、12歳以下及び14歳以下の選手、指導者を対象としたレクチャーのみ実施した。JTA派遣講師は、櫻井準人NTC運営委員会委員長が務めた。

・本事業に合わせて、第1回全国会議を開催した。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：一貫指導体制の全国構築に関する施策の策定事業(発掘・育成・強化指導体制)

事業内容：1)NTCを中核拠点とした、全国各ステージでのNTC活動のあり方を探り、ソフト、ハード両面での一環指導体制の構築を目指す基礎資料を作成した。愛媛トレセンなど国体強化と連携したモデルケースなど、次年度以降に生かしたい。

2)本事業の推進は、次年度以降、新設された「全国プロジェクト」に継承される。

事業区分：5〔テニスの競技力向上〕

事業名：NTC「ナショナルメソッド」の地域巡回伝達事業と視察

事業内容：1)12歳以下からスタートする育成フィールドでの指導法の伝達を期して「ナショナルメソッド」の全国展開を行った。

- ・優秀ジュニアを通して直接ホームコーチに伝達することで、将来へのさらなる飛躍を期待。
 - ・講習内容をDVDにまとめ、事前に各地域に配布。講習の効率化を目指した。
- 2)「トータルコーディネーション」(スピード&バランス)をテーマとして9地域を小浦GM及びS&Cコーチが巡回。選手だけでなく、地域内のトップ指導者及び特に参加選手のホームコーチに対して指導のコンセプトを伝達した。同時に地域指導者講習会を開催した。
- 一般指導者の9地域総計は約200名。参加選手合計145名、トップ指導者合計166名 報告書はJTAのHPに掲載した。

地域	場所	期間	対象	指導者	テクニカル	S&C
北海道	厚真町	10月24日～10月26日	U12 16名	32名	小浦武志	浜浦幸広
東北	秋田	9月26日～9月28日	U14 12名	20名	小浦武志 櫻井準人	山本修嗣
北信越	長野	11月14～1月16日	U12 12名	9名	小浦武志 櫻井準人	林本 悠
関東	千葉	12月12日～12月14日	U12 32名	16名	小浦武志	植木五行
東海	岐阜	12月19日～12月21日	U12 16名	9名	小浦武志 丸山 薫	山本修嗣
関西	兵庫	10月18日～10月19日	U12 30名	20名	小浦武志	植木五行
中国	広島	9月13日～9月15日	U12 16名	13名	小浦武志	山本修嗣
四国	高知	1月10日～1月12日	U12 16名	8名	小浦武志	堀田佳伸
九州	大分	9月5日～9月7日	U12 16名	18名	小浦武志 池田 亮	浜浦幸広 田島孝彦

事業区分：5 [テニスの競技力向上]

事業名：「ナショナルエリアコーチブロック派遣強化合宿」※事業計画での事業名を変更

事業内容：都府県テニス協会の要請によりNTCテクニカルコーチを派遣した。本事業は、主催する都府県テニス協会の全額費用負担で実施された。

参加選手合計208名 指導者合計170名 報告書はJTAのHPに掲載

地域	場所	期間	対象	指導者	テクニカル	S&C
東北	青森	8月18日～20日	高校中学 12名	1名	横松尚志	中村寛孝
東北	岩手	2月14日～15日	U14,13,12 18名	35名	横松尚志	林本 悠
北信越	石川	12月19日～21日	U12 16名	3名	横松尚志	植木五行
関東	千葉	1月10日～1月12日	U14 32名	8名	村上武資	植木五行
東海	岐阜	8月3日～5日	中学、高校生名 40名	20名	横松尚志	浜浦幸広
東海	静岡	11月23日～24日	U13 16名	30名	横松尚志	中村寛孝
中国	山口	12月13日～14日	中学生 38名	30名	丸山 薫	三栖英揮
中国	島根	11月23日～24日	U12、13 16人	30人	櫻井準人	植木五行
四国	愛媛	6月28日	小、中学生 20名	13名	小浦武志	なし

事業区分：5 [テニスの競技力向上]

事業名：強化指導指針Ⅲの編纂事業

事業内容：本年度編纂事業を計画していたが、次年度以降の普及本部教育部会での継続事業となる。

事業区分：11〔その他、この法人の目的を達成するために必要な事業〕

事業名：会議の開催

事業内容：第1回：5月24日（土）13:00からTTCにて開催。

19年度事業報告及び20年度事業計画について

第2回：3月14日（土）NTC コーチーズカンファレンス会場で開催。
20年度事業報告及び21年度事業計画の継承について討議し、本委員会はジュニア委員会、全国プロジェクト、教育部会に課題別に継承されることを確認した。

以上

指導者育成委員会（委員長：飯田 藍）

事業内容：公認指導員養成事業及び検定会・研修会の開催と教育プログラムの制作を行う

1. 公認資格認定に関する（コーチ・上級コーチ・教師・上級指導員）検定会

下記の通り公認資格認定に関する養成講習会および検定会を実施した。

①コーチ：前期 東京NTC 2008年11月17日～19日 参加者37名
後期 東京NTC 2009年1月13日～16日 参加者48名

②上級コーチ：東京NTC 2008年12月16日～20日 参加者20名

③教師（専門学校）：東京NTC 2009年2月2日～3日 参加者79名

④教師：前期 東京NTC 2008年11月20日～22日 参加者16名
後期 東京NTC 2009年1月19日～21日 参加者24名

⑤上級指導員：東京NTC 2009年1月10日～12日 参加者55名

⑥指導員：宮城県、群馬県、岐阜県、大阪府、奈良県、宮崎県の6都道府県で認定事業を行った。

⑦上級指導員：北海道、和歌山県、岡山県、福岡県の4都道府県で認定事業を行った。

2. S級ライセンスのための養成講習会および検定を下記の通り実施した。

第2回参加者は18名、再検定合格者は7名であった。

①基礎理論課程 2008年10月5日～12日 於：NTC

②指導実習課程 2009年2月16日～20日 於：NTC

③筆記テスト・検定試験 2009年2月21日～24日 於：NTC

*レベルアップ研修会 2009年2月25日 於：NTC 参加者17名

3. 2008年10月14日～15日に国立スポーツ科学センターにおいて日本体育協会助成事業の「全国講師研修会」をマスターコーチ、マスター教師、上級コーチ、上級教師を対象として開催した。参加者は72名であった。

5. 公認指導員を対象に指導者のレベルアップのためのリフレッシュ研修会を都道府県、地域主体で開催した。

6. 「コーチーズカンファレンス」を2009年3月14日～15日にナショナルトレーニングセンターにおいて、開催した。参加者は306名であった。

7. International Tennis Number の活用のため、全日本選手権、全日本学生選手権等の会場で ITN アセスメントを実施した。
8. 日本体育協会指導者育成専門委員会教育研修部会が主催する「養成システム・カリキュラム評価・提言ワーキング班」に井上委員が選出され、提言作成に参加した。
9. 会議への出席
 - ①「義務研修に関する指導者養成事業実施団体ヒアリング会」に参加した(1月20日)。
 - ②東京・岸記念体育館にて開催された日本体育協会の「全国スポーツ連絡者会議」に出席した(12月12日)。
10. 教育プログラム部会は「効果的な練習による優れた選手を生み出すためのドリル集」を作成し、各種養成講習会において活用した。
11. 委員会開催
 - ①認定校専門学校の担当者および担当教員との会議を行なった(2008年5月17日)
 - ②常任委員会を2008年4月26日、6月7日、11月23日に行った。
 - ③全体委員会を2008年6月7日、2009年3月13日に行なった。
 - ④教育プログラム部会を2008年6月15日に開催した。

以上

普及委員会(委員長:山本由美子)

事業区分: 1

事業名: 47都道府県テニス協会と他団体との協調と連携により、より多くのテニス愛好家を生み出す活動

事業内容:

1. 「テニスの日」イベント実施

テニスの日推進協議会との連携により実施。キャッチフレーズは”テニス祭り“
これは11年目を迎えた「テニスの日」をその日が来るのを皆で楽しみに待つようなテニスのお祭りをイメージし「テニスの日」は何か楽しそうだ!という雰囲気作りを目指したもの。
開催期日は9月23日を中心に前後1週間を基本としている。

- ① 共同イベントとして全国47都道府県協会を中心にそれぞれ独自の内容で開催。
平均参加人数230名。約11,000人。
- ② プロコーチの派遣。5ヶ所。9月14日三重県。9月23日宮城県。9月23日鳥取県。
10月4日岩手県。10月13日大分県。共同イベントのテーマとしてあげた「ITN 査定デモンストレーション」は、6都県にて100名参加。「全国一斉ボレー大会」には29県約2300名が参加した。
- ② 有明メインイベントは多くの著名選手の参加協力とより、親子テニス、キッズテニス、ジュニアテニスクリニック、初心者対象レッスン、車椅子テニス、ターゲットテニス、ITN 査定デモンストレーション、親善試合など実施。午後は雨により中止となったが、家族連れやテニス愛好家でにぎわった。

2. 全国普及委員会 1回、常任委員会2回、各部会2回

事業名: テニスの日部会の活動

事業内容:

- ① 8月4日(月) 東京都体育館 全国ショートテニストーナメント 審判の手伝い
- ② 9月23日(土) テニスの日 有明5,6番コート。キッズクリニックを担当。参加人数

- 200名
- ③ 10月13日(祝) 国立科学スポーツセンター 体育の日スポーツフェスタの行事 120名の小中学生に指導協力
 - ④ 12月20(土)21日(日)の2日間 東京都体育館。 マナーキッズテニス小学校団体戦全国大会 審判の手伝いとして協力

事業名：ITNシステム部会の普及活動・ITNの国内ネットワーク構築のための環境整備

事業内容：

- 1) ITN査定の実施につき、過去実施県には継続を依頼。
テニスの日に向けてのITN査定用のキットの購入の呼びかけ。JTAに5組のITNキットを備え、テニスの日その他、査定のための貸し出しに対応する体勢を整えた。
- 2) ITFのITNサイトの工事により、長期間入力作業が出来ずデータの収集がはかどらなかったがようやく再開。査定人によるプレイヤーのデータ入力後、プレイヤーが自分のデータを入れて、同意しないと日本国として表示されない。こうしたシステムにつき利用方法の改良を今後の課題とする。
- 3) 平成20年度公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会にてITN公認査定員(案)について説明
- 4) ITNに準拠した大会(練習試合)のケーススタディの実施と結果分析
 - ① 東北学生テニス連盟平成20年度夏季大会(本戦男子64名)
 - ② 青森大学TCクラブ練習試合3月10日からの新進トーナメントにて結果分析
- 5) ITN On Court Assessment (コート上の査定)
 - ① 9月6日 青森県テニス協会 参加者22名。テニスの日イベント
 - ② 9月13日 三重県テニス協会 3名 テニスの日イベント
 - ③ 9月21日 有明テニスの森 15名 テニスの日イベント
 - ④ 9月23日 福岡県テニス協会 10名の査定 テニスの日イベント
 - ⑤ 9月23日 福井県テニス協会 10名の査定 テニスの日イベント
 - ⑥ 9月23日 栃木県テニス協会 9名の査定 テニスの日イベント
 - ⑦ 11月6日 全国レディーステニス全国大会 昭和の森会場 20名の査定
 - ⑧ 11月15日 全日本テニス選手権大会 有明テニスの森会場 30名の査定 山本育史プロが日本最高のITN査定2を記録した
 - ⑨ 1月12日 慶應大学硬式庭球同好会連盟 湘南スポーツセンター 16名査定を行なう 今後参加者全員の査定を行い、ITN準拠した大会とすることが可能となる。

以上

マナーキッズテニスプロジェクト (ディレクター：田中日出男)

1. マナーキッズテニスの積極的な普及

以下の通り、一般公募型 34 回 2,321 名、訪問指導型 72 回 6,055 名 合計 106 回開催し、8,326 名が参加した。(通算で 351 回 25,425 名の参加)

	月日	開催場所	区分	参加人員			合計	NPOとの連携		
				一般公募型	訪問指導型					
				114	6,723	131	10,376	245	17,099	
1	20・4・25(金)	東京都杉並区立三谷小学校体育館	訪問指導型(体育授業)	0	0	1	70	1	70	
				114	6,723	132	10,446	246	17,169	
2	20・4・27(日)	岡山県倉敷市立体育館	一般公募型(デモ教室)	1	78	0	0	1	78	
				115	6,801	132	10,446	247	17,247	
3	20・4・27(日)	和歌山県立体育館	一般公募型(デモ教室)	1	82	0	0	1	82	
			和歌山県TA主催	116	6,883	132	10,446	248	17,329	
4	20・5・6(火)	栃木県宇都宮市体育館	一般公募型(デモ教室)	1	64	0	0	1	64	
				117	6,947	132	10,446	249	17,393	
5	20・5・13(火)	福岡県田川郡添田町立津野小学校体育館	訪問指導型(体育授業)	0	0	1	31	1	31	
				117	6,947	133	10,477	250	17,424	
6	20・5・13(火)	福岡県飯塚市伊岐須小学校体育館	訪問指導型(体育授業)	0	0	1	117	1	117	
				117	6,947	134	10,594	251	17,541	
7	20・5・16(金)	和歌山県有田市立城山西小学校体育館	訪問指導型(体育授業)	0	0	1	25	1	25	
			和歌山県TA主催	117	6,947	135	10,619	252	17,566	
8	20・5・20(火)	京都府京都市立御室小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	268	1	268	○
			(体育・道徳融合授業)	117	6,947	136	10,887	253	17,834	
9	20・5・21(水)	京都府京都市立御室小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	108	1	108	○
			(体育・道徳融合授業)	117	6,947	137	10,995	254	17,942	
10	20・5・31(土)	高知県春野総合運動公園体育館	一般公募型(デモ教室)	1	46	0	0	1	46	
				118	6,993	137	10,995	255	17,988	
11	20・6・6(金)	神奈川県川崎市立日吉小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	203	1	203	○
			(体育・道徳融合授業)	118	6,993	138	11,198	256	18,191	
12	20・6・8(日)	富山県センティアウイングテニスコート	一般公募型(デモ教室)	1	75	0	0	1	75	
				119	7,068	138	11,198	257	18,266	
13	20・6・10(火)	神奈川県川崎市立日吉小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	155	1	155	○
			(体育・道徳融合授業)	119	7,068	139	11,353	258	18,421	
14	20・6・14(土)	東京都杉並区立高円寺北幼稚園	訪問指導型(体育授業)	0	0	1	28	1	28	
				119	7,068	140	11,381	259	18,449	
15	20・6・14(土)	和歌山県和歌山市立吹上小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	44	1	44	
			和歌山県TA主催	119	7,068	141	11,425	260	18,493	
16	20・6・17(火)	神奈川県川崎市立日吉小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	128	1	128	○
			(体育・道徳融合授業)	119	7,068	142	11,553	261	18,621	
17	20・6・19(木)	和歌山県和歌山市立楠見西小学校体育館	訪問指導型(体育授業)	0	0	1	33	1	33	
			和歌山県TA主催	119	7,068	143	11,586	262	18,654	
18	20・6・20(金)	神奈川県川崎市立日吉小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	201	1	201	○
			(体育・道徳融合授業)	119	7,068	144	11,787	263	18,855	
19	20・6・21(土)	東京都杉並区立三谷小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	28	1	28	
			(三谷サタデー)	119	7,068	145	11,815	264	18,883	
20	20・6・24(火)	北九州市立香月小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	210	1	210	○
			(体育・道徳融合授業)	119	7,068	146	12,025	265	19,093	
21	20・6・25(水)	北九州市立香月小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	183	1	183	○
			(体育・道徳融合授業)	119	7,068	147	12,208	266	19,276	
22	20・6・29(日)	滋賀県草津市草津MIDテニスクラブ	一般公募型(デモ教室)	1	51	0	0	1	51	
				120	7,119	147	12,208	267	19,327	
23	20・7・5(土)	神奈川県相模大野市TOPインドアステージ相模大野	一般公募型(デモ教室)	1	25	0	0	1	25	
				121	7,144	147	12,208	268	19,352	
24	20・7・5(土)	和歌山県和歌山市立有功小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	34	1	34	
			和歌山県TA主催	121	7,144	148	12,242	269	19,386	
25	20・7・12(土)	愛知県名古屋市中区東山公園テニスセンター	一般公募型(デモ教室)	1	64	0	0	1	64	
				122	7,208	148	12,242	270	19,450	
26	20・7・13(日)	岐阜県東海学院大学体育館	一般公募型(デモ教室)	1	37	0	0	1	37	
				123	7,245	148	12,242	271	19,487	
27	20・7・15(火)	福岡県田川郡添田町立真木小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	62	1	62	○
			(体育・道徳融合授業)	123	7,245	149	12,304	272	19,549	
28	20・7・16(水)	神奈川県横浜市栄区小山台小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	34	1	34	
			(はまっ子ふれあいスクール)	123	7,245	150	12,338	273	19,583	
29	20・7・22(火)	東京都町田市立小川小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	30	1	30	
				123	7,245	151	12,368	274	19,613	
30	20・7・25(金)	兵庫県神戸市ITC神戸テニス&フィットネス	一般公募型(デモ教室)	1	68	0	0	1	68	
				124	7,313	151	12,368	275	19,681	
31	20・7・26(土)	茨城県猿島郡境町生涯学習課	訪問指導型	0	0	1	50	1	50	
				124	7,313	152	12,418	276	19,731	
32	20・7・27(日)	神奈川県横浜市ティップネススポーツクラブ	一般公募型(デモ教室)	1	35	0	0	1	35	
				125	7,348	152	12,418	277	19,766	
33	20・7・28(月)	新潟県長岡市立中島小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	49	1	49	
			(夏休みむつなみ塾)	125	7,348	153	12,467	278	19,815	
34	20・8・2(土)	北海道帯広市帯広の森スポーツセンター	一般公募型(デモ教室)	1	29	0	0	1	29	
				126	7,377	153	12,467	279	19,844	
35	20・8・3(日)	北海道帯広市帯路の森スポーツセンター	一般公募型(デモ教室)	1	27	0	0	1	27	
				127	7,404	153	12,467	280	19,871	

36	20・8・4(月)	北海道釧路市鳥取ドーム	一般公募型(デモ教室)	1	38	0	0	1	38	
				128	7,442	153	12,467	281	19,909	
37	20・8・15(金)	第1回マナーキッズテニス小学生団体戦 千葉県大会	協力	1	100	0	0	1	100	
				129	7,542	153	12,467	282	20,009	
38	20・9・6(土)	千葉県千葉市立更科小学校体育館	訪問指導型	0	0	1	17	1	17	
				129	7,542	154	12,484	283	20,026	
39	20・9・7(日)	東京都葛飾区ウエルラケットクラブ	一般公募型(デモ教室)	1	42	0	0	1	42	
				130	7,584	154	12,484	284	20,068	
40	20・9・7(日)	和歌山県湯浅町民体育館	一般公募型(デモ教室)	1	46	0	0	1	46	
				131	7,630	154	12,484	285	20,114	
41	20・9・10(水)	神奈川県横浜市立黒須田小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	110	1	110	○
				131	7,630	155	12,594	286	20,224	
42	20・9・16(火)	福岡県北九州市立八枝小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	121	1	121	○
				131	7,630	156	12,715	287	20,345	
43	20・9・17(水)	福岡県遠賀郡水巻町立吉田小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	50	1	50	○
				131	7,630	157	12,765	288	20,395	
44	20・9・20(土)	山口県岩国市帝人岩国体育館	一般公募型(デモ教室)	1	38	0	0	1	38	
				132	7,668	157	12,765	289	20,433	
45	20・9・23(火)	花川運動公園テニスコート	一般公募型(デモ教室) 浜松市テニス協会主催	1	49	0	0	1	49	
				133	7,717	157	12,765	290	20,482	
46	20・9・25(木)	福岡県北九州市立高見小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	201	1	201	○
				133	7,717	158	12,966	291	20,683	
47	20・9・26(金)	福岡県北九州市立高見小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	175	1	175	○
				133	7,717	159	13,141	292	20,858	
48	20・9・28(日)	福島県湯川村総合型地域スポーツクラブ ゆがわMyまいクラブ	一般公募型(デモ教室)	1	58	0	0	1	58	
				134	7,775	159	13,141	293	20,916	
49	20・10・2(木)	東京都港区立青南小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	83	1	83	○
				134	7,775	160	13,224	294	20,999	
50	20・10・4(土)	AIGジャパンオープンイベント (有明テニスの森公園コート)	一般公募型(デモ教室)	1	109	0	0	1	109	
				135	7,884	160	13,224	295	21,108	
51	20・10・5(日)	AIGジャパンオープンイベント (有明テニスの森公園コート)	一般公募型(デモ教室)	1	126	0	0	1	126	
				136	8,010	160	13,224	296	21,234	
52	20・10・11(土)	埼玉県さいたま市駒場体育館	一般公募型(デモ教室) マナーキッズテニス埼玉大会	1	176	0	0	1	176	
				137	8,186	160	13,224	297	21,410	
53	20・10・11(土)	千葉県四街道市立四街道中央小学校	訪問指導型	0	0	1	38	1	38	
				137	8,186	161	13,262	298	21,448	
54	20・10・12(日)	山梨県甲府市エストテニスクラブ	一般公募型(デモ教室)	1	21	0	0	1	21	
				138	8,207	161	13,262	299	21,469	
55	20・10・13(月)	東京都杉並区松ノ木運動場	一般公募型(デモ教室) (体育・道徳融合)	1	60	0	0	1	60	○
				139	8,267	161	13,262	300	21,529	
56	20・10・16(木)	富山県富山大学人間発達科学部 付属小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	40	1	40	○
				139	8,267	162	13,302	301	21,569	
57	20・10・17(金)	千葉県柏市立花野井小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	32	1	32	○
				139	8,267	163	13,334	302	21,601	
58	20・10・24(金)	茨城県桜川市立真壁小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	78	1	78	○
				139	8,267	164	13,412	303	21,679	
59	20・10・26(日)	神奈川県逗子市体育館	一般公募型(デモ教室) (逗子市テニス協会主催)	1	74	0	0	1	74	
				140	8,341	164	13,412	304	21,753	
60	20・10・28(火)	愛知県名古屋市長早小学校体育館 22,218	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	108	1	108	○
				140	8,341	165	13,520	305	21,861	
61	20・10・29(水)	青森県八戸市千葉幼稚園	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	67	1	67	○
				140	8,341	166	13,587	306	21,928	
62	20・10・30(木)	青森県八戸市立新井田小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	108	1	108	○
				140	8,341	167	13,695	307	22,036	
63	20・10・31(金)	東京都文京区筑波大学付属小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	39	1	39	○
				140	8,341	168	13,734	308	22,075	
64	20・11・1(土)	福岡県太宰府市九州情報大学学園祭行事	一般公募型(デモ教室) (体育・道徳融合授業)	1	81	0	0	1	81	○
				141	8,422	168	13,734	309	22,156	
65	20・11・14(金)	千葉県柏市立花野井小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	62	1	62	○
				141	8,422	169	13,796	310	22,218	
66	20・11・15(土)	花川運動公園テニスコート	一般公募型(デモ教室) 浜松市テニス協会主催	1	19	0	0	1	19	
				142	8,441	169	13,796	311	22,237	
67	20・11・19(水)	和歌山県和歌山市立楠見西小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	37	1	37	○
				142	8,441	170	13,833	312	22,274	
68	20・11・21(金)	東京都港区立青南小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	93	1	93	○
				142	8,441	171	13,926	313	22,367	
69	20・11・23(日)	新潟県三条市総合型スポーツクラブ りんでる	一般公募型(デモ教室)	1	34	0	0	1	34	
				143	8,475	171	13,926	314	22,401	
70	20・11・29(土)	宮城県仙台市シェルコム仙台	一般公募型(デモ教室)	1	42	0	0	1	42	
				144	8,517	171	13,926	315	22,443	
71	20・11・29(土)	和歌山県和歌山市立吹上小学校	訪問指導型	0	0	1	51	1	51	
				144	8,517	172	13,977	316	22,494	
72	20・12・4(木)	茨城県古河市立第2小学校体育館	訪問指導型・親子交流会 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	84	1	84	○
				144	8,517	173	14,061	317	22,578	

73	20・12・7(日)	富山県富山市立豊田小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合教室)	0	0	1	30	1	30	○
74	20・12・11(木)	兵庫県西宮市立広田小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	144	8,517	174	14,091	318	22,608	○
75	20・12・13(土)	東京都西東京市早稲田大学テニス部テニス (ワセダクラブ)	一般公募型(デモ教室)	1	55	0	0	1	55	
76	20・12・20(土)	第4回文部科学大臣杯マナーキッズテニス 全国小学生団体戦(東京体育館)		145	8,572	175	14,271	320	22,843	
77	20・12・21(日)	同		1	0	0	0	1	0	
78	20・1・13(火)	福岡県遠賀郡岡垣町立内浦小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	175	14,271	322	23,284	
79	20・1・14(水)	福岡県遠賀郡岡垣町立吉木小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	141	1	141	○
80	21・1・15(木)	福岡県遠賀郡遠賀町立広渡小学校	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	178	14,538	325	23,551	○
81	21・1・29(木)	福岡県田川市立金川小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	72	1	72	○
82	21・1・30(金)	福岡県飯塚市立飯塚東小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	180	14,689	327	23,702	○
83	21・1・30(金)	福岡県飯塚市立幸袋小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	88	1	88	○
84	21・1・31(土)	千葉県白井市立桜台小学校体育館	訪問指導型	147	9,013	182	14,814	329	23,827	
85	21・2・3(火)	神奈川県川崎市立宮前小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	183	15,008	330	24,021	○
86	21・2・4(水)	和歌山県新宮市王子小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	53	1	53	○
87	21・2・5(木)	和歌山県新宮市王子小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	185	15,107	332	24,120	○
88	21・2・6(金)	熊本県湯前町立湯前小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	89	1	89	○
89	21・2・9(月)	神奈川県川崎市立宮前小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	187	15,325	334	24,338	○
90	21・2・14(土)	岡山県倉敷市立第三福田小学校体育館	訪問指導型	147	9,013	188	15,365	335	24,378	
91	21・2・15(日)	茨城県古河市蕨町子ども会	訪問指導型	0	0	1	47	1	47	
92	21・2・17(火)	静岡県浜松市大平台小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	190	15,517	337	24,530	○
93	21・2・17(火)	福岡県田川市立伊田小学校体育館	訪問指導型 (体育授業)	0	0	1	59	1	59	
94	21・2・18(水)	神奈川県川崎市立宮前小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	192	15,697	339	24,710	○
95	21・2・19(木)	神奈川県川崎市立宮前小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	191	1	191	○
96	21・2・21(土)	東京都杉並区立三谷小学校体育館	訪問指導型 (三谷サタデー)	147	9,013	193	15,888	340	24,901	
97	21・2・22(日)	和歌山県和歌山市立野崎小学校体育館	訪問指導型	147	9,013	195	15,951	342	24,964	
98	21・2・23(月)	兵庫県芦屋市立山手小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	82	1	82	○
99	21・2・26(木)	東京都杉並区立井荻小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	197	16,079	344	25,092	○
100	21・3・2(月)	和歌山県和歌山市立砂山小学校	訪問指導型 (体育授業)	0	0	1	142	1	142	
101	21・3・9(月)	岐阜県美濃加茂市立加茂野小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	199	16,284	346	25,297	○
102	21・3・10(火)	岐阜県美濃加茂市立加茂野小学校体育館	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	0	0	1	62	1	62	○
103	21・3・25(水)	神奈川県横浜市桐蔭学園幼稚園	訪問指導型 (体育・道徳融合授業)	147	9,013	201	16,377	348	25,390	○
104	21・3・26(木)	マナーキッズテニス大使事前研修会 吉田記念テニス研修センター		0	0	1	4	1	4	
105	21・3・27(金)	マナーキッズテニス大使事前研修会 吉田記念テニス研修センター		147	9,013	202	16,381	349	25,394	
106	21・3・29(日)	東京都葛飾区こやのエンジョイクラブ	訪問指導型	1	31	0	0	1	31	
				148	9,044	203	16,381	351	25,425	

2. 第3回文部科学大臣杯マナーキッズテニス全国小学生団体戦の開催

平成20年12月20日(土)、21日(日)の両日、東京体育館において開催し、全国から60団体、181チーム、441名が参加した。試合結果、マナー、感想文、運動能力テストの結果、林 雄大(埼玉県、三郷市立新和小学校6年)、一山貴洋(西東京フロンティアキッズ5年)、千葉理沙(仙台テニススポーツ少年団6年)、小島日佳里(浜町キッズ5年)の4名をマナーキッズテニス大使に任命した。

以上

環境委員会（委員長：橋爪 功）

事業区分：1

事業名：JOC スポーツ環境委員会、他の競技団体および環境保全組織と連携し、テニス界を中心に自然環境保全と整備を目的とした活動（3R 推進）

事業内容：1. テニス界における環境保全の調査と啓蒙、実践活動

- (1) JTA 主催 14 大会をはじめ、コーチーズカンファレンス、修造チャレンジなどの合宿で環境横断幕やポスターを掲出した。
 - (2) 環境省、JOC とともに「チームマイナス6%」の啓蒙活動として横断幕の掲出と「イザワクリスマスオープン」、「全日本室内選手権大会」でプログラム広告を実施。
 - (3) テニスの日の共同イベントとして、各団体の協力のもとに 47 都道府県でイベント終了後「クリーンアップ大作戦」を実施した。
2. NPO グローバルスポーツアライアンスと「パートナーシップ」を締結した。
- (1) エコフラッグの掲出を AIG オープン、全日本選手権大会で実施。
 - (2) 使用済みのテニスボールのリユース活動については、昨年引き続き各地方協会に呼びかけるとともに、広報委員会と共同で AIG オープンなどで 15000 個のボールを回収し、各地の小学校に送った。
3. 都道府県協会との連携では、テニスの日の共同イベントや「環境だより」などの情報を発信した。
4. 啓蒙活動の一環として、「リボンマグネット」を制作して「全国レディース」と「全日本選手権大会」で 100 枚を販売した。
5. JOC 主催の「スポーツ環境委員会」、「スポーツ環境担当者会議」「地域セミナー」（広島市で実施）などに各担当者が出席し、情報の共有と交流を深めた。
6. 上記の活動を円滑に進めるため、環境委員会を 2 回（5 月、2 月）と常任委員会を 2 回（5 月、2 月）に開催した。

以上

ドーピングコントロール委員会（委員長：助川 卓行）

事業区分：1 1

事業名：ドーピング検査の実施

- 1) 全日本ジュニアテニス選手権大会 2008 におけるドーピング検査

実施期日：平成 20 年 8 月 9 日（土）10 日（日）

場 所：靱テニスセンター（大阪市西区）

対 象：男子選手 8 名、女子選手 8 名 合計 16 名

検査要員：DC09 名（研修 DC0 を含む）、シャペロン 16 名（DC0 も含む）、事務員 2 名 合計 27 名（延べ人数）

検査結果：検査分析結果は、全員”禁止薬物は認められなかった”との判定を得た。

事業の経費：財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の事業として実施することとなり、殆どの経費は JADA で負担された。

事業の成果：検査コストパフォーマンスを考慮すると、従来は検査日が一日だったのを、今年から二日間にわたり検査を実施することにした。検査対象選手は未成年であり全員が初めての検査であったので、父兄・コーチなどに同伴して頂き、検査完了までの時間を活用して、諸資料によりアンチ・ドーピングの正しい知識など、懇談形式で優しく解説を行った。

特に、父兄・コーチの方々にたいしては、アンチ・ドーピングについての認識を高めて頂き、検査終了後にはアンチ・ドーピング諸資料を持ち帰り、友

達の選手等にもこの経験を話すようお願いしたので、啓蒙の成果が期待できるものと思われる。

また、本大会でのドーピング検査の実施は、多くの選手・父兄・コーチ等指導者に関心を持つ良い機会となり、この面からもアンチ・ドーピング啓蒙の効果があつたものと考え。

2) 全日本学生テニス選手権大会におけるドーピング検査

実施期日：平成20年8月31日(土)

場 所：有明コロシアム

対象選手：男子選手5名、女子選手5名 合計10名

検査要員：DC07名(研修DC02名含む)、シャペロン10名、オブザーバー1名、事務員1名 合計19名

検査結果：検査分析結果は、全員”禁止薬物は認められなかった”との判定を得た。

事業の経費：今年度は、平成20年度スポーツ振興くじ(toto)に申請し助成が得られ、競技会検査の実施対象競技会となり検査を実施することができた。

事業の成果：昨年に引き続き学生を対象とすることで、まだアンチ・ドーピングの意識が低い学生達にアンチ・ドーピングの意識をしっかりと自覚してもらい、啓蒙していく上でも非常に意義のあることと思われた。検査対象者には異常を認めなかったが、風邪薬・ドリンク剤の危険性について知らない者が多かった。今後も啓蒙の必要があるので続けたい。

3) ニッケ全日本テニス選手権大会 83rd におけるドーピング検査

実施期日：平成20年11月11日(火)、12日(水)

場 所：有明コロシアム

対 象：男子選手8名、女子選手8名 合計16名

検査要員：DC08名(研修DC0を含む)、シャペロン16名、事務員2名 合計26名

検査結果：検査分析結果は、全員”禁止薬物は認められなかった”との判定を得た。

事業の経費：財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の事業として実施することとなり、殆どの経費はJADAで負担された。

事業の成果：本大会におけるドーピング検査は11回目となり、選手達も協力的で特に問題もなく円滑に実施することが出来た。ただし、天候には恵まれず12日は試合中断もあり検査終了するまで時間を費やした。

ドーピング検査を受ける選手に対しては、検査完了までの時間を活用して、アンチ・ドーピングについて個別に解説や話し合いを持った。最近ではドーピング検査に慣れている選手も増えてきたが、下位ランキングの選手達の中にはまだまだアンチ・ドーピングについての無関心・無知がその対話の中で伺われた。選手一人一人の意識に届く啓蒙はなかなか難しいが、ドーピング検査を実施することが地道ではあるがアンチ・ドーピング啓蒙の良い機会になっており、ドーピング検査の回を重ねる毎に、選手・コーチ等の意識は変わってきている。

4) 第23回テニス日本リーグ2ndステージ大会におけるドーピング検査

実施期日：平成21年1月17日(土)

場 所：横浜国際プール(神奈川県横浜市都筑区)

対象選手：男子選手16名

検査要員：DC06名、シャペロン10名、オブザーバー1名、事務員2名 合計19名

検査結果：検査分析結果は、全員”禁止薬物は認められなかった”との判定を得た。

事業の経費：財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の事業として本年より実施の要請があり、殆どの経費はJADAで負担された。

事業の成果：実業団での検査実施は初めての試みであり、国内トップクラスの選手が出場していることを考慮すると、大会の価値を高めさらには啓蒙の浸透へとつながると思われる。

5) 第23回テニス日本リーグ決勝ステージ大会におけるドーピング検査

実施期日：平成21年2月21日(土)

場 所：東京体育館（渋谷区千駄ヶ谷）

対象選手：男子選手12名、女子選手8名

検査要員：DCO9名、シャペロン20名、オブザーバー1名、事務員2名 合計32名

検査結果：検査分析結果は、全員”禁止薬物は認められなかった”との判定を得た。

事業の経費：財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の事業として本年より実施の要請があり、殆どの経費はJADAで負担された。

事業の成果：実業団での検査実施は、2ndステージに続いてであり、実施期日は2ndステージから僅か1ヵ月後ではあったが、決勝ステージであること考慮すると意味があるものと思われる。

6) 第26回東レPPOテニス大会におけるドーピングコントロール実施協力

平成20年9月に開催された第26回東レPPOテニス大会期間中の、9月16日、17日に行われたドーピング検査にたいし5名の要員を派遣した。

7) 検査体制を維持充実するためJADAのDCO(ドーピング・コントロールオフィサー)養成講習会に、委員の推薦と支援をおこなった。またシニアDCO講習会と資格維持のための試験があった。

8) JADAからの要請により全日本ジュニア選手権大会、全日本学生テニス選手権大会、全日本選手権大会、テニス日本リーグ決勝大会では、研修生のDCOを受け入れて教育・指導を行った。

事業区分：11

事業名：アンチ・ドーピング対策

1) 選手等からの照会対応

ナショナル選手やコーチ・選手の家族からの服用中の薬品についての照会や使用可能薬について等諸照会に対応した。

2) TUE(治療目的使用の適用措置)の申請は、所定の書類に医師が詳しく記入することになっており、平成19年度以降はJTAを通さず選手が直接JADAに申請書を送ることとなった。但し、国際大会に出場する選手はIDTMに申請しなければならない。この申請はJTAを通して行なう。委員会では、選手から依頼があった場合、使用する書式見本と記入例を示し適切に対応することとする。

3) 大麻事件があり、急遽ドーピング対策委員会を開催した。アンチ・ドーピングについてのさらなる教育・啓蒙活動の見直しとして平成20年12月2日(火)ドーピング・コントロール委員会主催で、専務理事をはじめドーピング判定委員会、医事委員会、ナショナルチーム、JADAなどからスタッフがNTC(ナショナルトレーニングセンター)研修室に集まり、今後のアンチ・ドーピング協議を行った。

事業区分：11

事業名：アンチ・ドーピングの啓蒙

1) 「JADA Anti-Doping Guide Book 2008」がJADAから配付された。この冊子は、オリンピック強化指定選手にはJADAから直送されているが、ドーピング検査会場などにて希望者に配付した。

2) JADAからの「最新アンチ・ドーピング関連記事ヘッドライン」配信

平成18年2月16日より、JADAからアンチ・ドーピングに関する最新情報が配信され、ドーピングコントロール委員会が受信し、関係者に配信している。

3) 平成20年12月2日に開催されたドーピング対策委員会協議の中で、ジュニアにおけるアンチ・ドーピング啓蒙の重要性が指摘され、12月13日(土)白子で行われた関東ジュニア合宿中にアンチ・ドーピング講習会を開催した。

4) 2009年度よりWADA Code(世界ドーピング防止規程)2009の改訂とIST(検査に関する国際基準)2009の改訂があり、平成21年2月6日(金)にドーピング予防研修会がJISSにて開催され、事務局をはじめトレーナー、強化スタッフおよび担当ドクターなど競技者支援要員向けに出席を依頼した。

5) 第1回テニスメディカルスタッフ研修会が平成21年3月14日(土)に開催され、トーナメ

ントメディカルスタッフにたいし必要な最小限の知識について、教育DVD上映とアンチ・ドーピングについて講演を行った。

以上

トーナメント本部（本部長：田中 耕二）

ジャパンオープン委員会（委員長：渡邊 康二）

事業区分：3

事業名：2008 AIG ジャパンオープンの開催

事業内容：2008 AIG ジャパンオープンの開催について

今大会は男子は、フェレール、ロディック、ゴンザレス、ガスケ、錦織、女子は、クルム伊達選手等の参加で、入場者数は大会期間中の観客としては史上2番目（2006年フェデラー参加がトップ）だが、AIG Sundayの企画が成功し、有料入場者を加味すると過去最高の観客数となり、大変盛会裡に開催出来た。

特に今年から、東レ大会が秋に移行、本大会の1週前に開催された事で、準備期間も少なく、会場の使用について色々心配もあったが、密接な事前の打ち合わせで、混乱なく、スムーズに受ける事が出来た。経費面では両大会が共有する事で多少の節約も出来た。

大会は「アジア最大のテニス祭典」として、テニスの試合以外にも様々なイベントで多に大会を盛り上げ、大会運営、観客サービスなどにも改善を図った。

（1）試合結果

試合は男子シングルスでは第9シードのT・ベルディハ選手（チェコ）が第5シードのF・デルポトロ選手（アルゼンチン）を6-1 6-4のストレートで破り、初優勝。ダブルスはM・ユーズニー、M・ズベレフ組（ロシア、ドイツ）がノーシードながら決勝に進出し、第1シードのL・ドロウヒー、L・パエス組（チェコ、インド）を破り初優勝。

女子シングルスは第1シードのC・ウォズニアッキ選手（デンマーク）が第5シードのK・カネビ選手（エストニア）をフルセットで破り初優勝を飾った。

ダブルスはノーシード同士の決勝でJ・クレーバス、M・エラコビッチ組（アメリカ、ニュージーランド）が森田、中村組（日本）をフルセットの大逆転で初優勝。

（1）試合進行について

①今年前半の雨で2日間男子はNTC、女子は慶応大学のコートを使う事になったが、バス等の輸送の対策では、ノウハウが蓄積された為大きな混乱なく、乗り切る事が出来た。これは審判、ボールパーソンの多大な協力のお陰であった。

（2）観客サービス

①今大会は話題の選手が多く参加してくれたので、入場者も過去最高で、水曜日からは天候も回復し、錦織選手の出場などで、平日にも拘らず、10,000人を超える来場で、インフォメーション・カウンターは、一昨年からの経験も生かされ、また経験の積み重ねにより大きな混乱を招く事もなく、無事終了した。

②会場の広場については、お祭り広場らしい賑やかな雰囲気を出すことに注力した。飲食関係については、コロシアム内には2階スペースに売店を出すなどお客様に利用し易く、そして会場外の売店にも種類、内容、値段などの改善に努めた。初めての試みとして“Corona Beer”のマーキーを出したが他のブースとの統一性を欠き、全体的なバランスが崩れたのは反省点である。

（3）スポンサーサービス

①今回話題の参加選手はD・フェレール（ATP5位）、A・ロディック（同8位）、F・ゴンザレス（同11位）R. ガスケ（同12位）、等世界のトッププレイヤー

が集結し、素晴らしい試合が展開され大いに盛り上がった

②錦織選手の話で、火曜日、水曜日とNHKで特別放送が入るなど、会場には多くのメディアがつめかけ、大会のニュース報道にも取り上げられ露出効果が多いに上がった。

③今年もNHKの協力をいただき、ガオラでの平日放映と広範囲にTV放送が実現出来た事は、「AIG OPEN タイトル」の露出拡大に寄与すると共に、多くのテニスファンの期待に応じられたと確信する。

(4) 選手サービス

選手へのサービスについて、今後大会の更なる向上のためにも、種々改善が必要である、コートの問題、IDの発行、管理、ランドリーの値段、送迎の方法、ライブスコア、タオル、ボール等について、選手から不満が出ないようにしたい。

(5) 総括

男子のツアーイベントは本大会が国内で唯一のものであり、年々その注目度は高まって来ている。特に2009年からツアーが変わることで、この大会を「テニスをメジャースポーツに！」という大目標達成の手段とすると共に、テニス界全体の共存共栄の理想への核となるよう発展させて行きたい。

(6) ATP,WTAのスーパーバイザーからのアドバイスについて

*コートに関して

センターコート：サーフェスが早すぎ、滑りすぎる。色も禿げていて審判や選手がボールを見るのが困難、

コート1：サーフェスがところどころ均等でなく、サーフェスも早く、滑りやすい。

コート3：サーフェスは早く滑りやすい

コート2, 4, 8, 9, 10のサーフェスが早い

以上のことから東京埠頭(株)に陳情し、2009年大会までには全面サーフェス塗り替えて合意を得た。

*テクノロジーに関して

ライブスコアのスタッフが問題が起きた時にいなかったりした。これは来年に向けて改善すべきところ。

*チェアアンパイアに関して

審判台の位置を反対側へ動かして欲しい。夕方になると西日が厳しく判定に苦勞する。(NHKとの協議(カメラ位置等)必要)

審判台の足乗せが高く足を置くのに不安定、調整出来るような横木の間隔が欲しい。

*その他

来年からは早くに到着して練習をしたい選手たちのために、予選前の金曜日から有明のロッカールームの使用が望ましい。来年はPPOが重なるため、男子ロッカールームを使用しているWTAを木曜日に場所移動する必要がある。

ロッカールームの掃除が行き届いていない。また荷物がツアー事務所や賞金事務所への廊下にも物置場のように置かれていた。

より一層良い大会と云う事をアピールするために来年はホークアイを導入することを進言する。

コートは今後違う色に塗り直してイベントイメージをアップさせたほうがよい。

(7) プレイヤー・サービス トーナメントレポート

①コートに関して

選手から一番不平があったのは、センターコートと練習コート(外)のサーフェスの違い。コート1と2はセンターコートよりもサーフェスが断然早いと云う文句が出ている。コート自体が老朽化しているのが一目瞭然

②プレイヤーズラウンジ

プラクティスの予約に関して、夜以降ホテルに移ってプラクティスの予約を

受けるのは選手にとっても混乱のもとになるので、一か所にまとめたほうがよい。(今年は途中からOPが出たあと、最低1時間は会場にて予約をとって、ホテルに移った。来年はホテルの予約受付は廃止しても良いと思われる。部屋代も浮く) 食事はOK、スタッフも良かった。

③輸送に関して

雨天時にバススケジュール変わると選手が困惑するので、一つのスケジュールで統一したほうが良いのではないかと

以上

国際大会委員会 (委員長: 畠中 君代)

1. 各種国際大会の主催ならびに後援・公認

〈男子大会〉

- ①甲府男子フューチャーズ F3(甲府市/4月1日～6日)
- ②軽井沢フューチャーズ F4(草津町/6月9日～15日)
- ③草津男子フューチャーズ F5(軽井沢町/6月12日～17日)
- ④昭和の森男子フューチャーズ F6(昭島市/6月24日～29日)
- ⑤JPTA メガロス男子フューチャーズ F7(東京都/7月1日～6日)
- ⑥JPTA 大阪男子フューチャーズ F8 (大阪市/9月9日～14日)
- ⑦JPTA 札幌男子フューチャーズ F9 (野幌市/9月16日～21日)
- ⑧柏男子フューチャーズ F10 (柏市/10月14日～19日)
- ⑨MSS 男子フューチャーズ F11(東京都/10月21日～26日)
- ⑩慶応義塾チャレンジャー(横浜/11月17日～23日)
- ⑪豊田市長杯ダンロップワールドチャレンジ (豊田市 11月25日～30日) *新設
- ⑫亜細亜大男子フューチャーズ F1(西多摩郡日ノ出町/3月17日～23日)
- ⑬早稲田大男子フューチャーズ F2 (西東京市/3月24日～30日)

〈女子大会〉

- ①カンガルーカップ国際女子 (岐阜市/4月29日～5月4日)
- ②福岡国際女子オープン (福岡市/5月6日～11日)
- ③ベストアメニティカップ久留米国際(久留米市/5月13日～18日)
- ④軽井沢国際女子 (長野軽井沢町/5月20日～25日)
- ⑤草津国際女子 (群馬-草津町/5月27日～6月1日)
- ⑥東京有明国際女子 I (東京都/6月10日～15日)
- ⑦プリンス須玉国際女子 (北杜市/6月16日～22日)
- ⑧昭和の森国際女子(昭島市/7月8日～13日)
- ⑨シーガイアカップ国際女子(宮崎市/7月15日～20日)
- ⑩十勝・帯広国際女子 (帯広市/7月29日～8月3日)
- ⑪埼玉グリーン国際女子 (川口市/8月26日～31日)
- ⑫セキショウ国際女子 (つくば市/ 9月1日～7日)
- ⑬能登国際女子 (能市/9月9日～14日)
- ⑭GS ユアサ国際女子 (京都市/9月16日～20日)
- ⑮東レ パン・パシフィック・テニス (東京都/9月16日～20日)
- ⑯ゴーセンカップ牧の原国際女子 (牧の原/10月14日～19日)
- ⑰浜名湖国際女子 (三ヶ日町/10月21日～26日)
- ⑱東京有明 II(東京都/10月28日～11月2日)
- ⑲豊田市長杯ダンロップワールドチャレンジ (豊田市/11月25日～30日) *新設

〈ジュニア大会〉

- ①ATFU14 須玉ジュニア大会 (北杜市/7月2日～8日)

- ②兵庫国際ジュニア大会Ⅰ（三木市/第1週=8月26日～9月2日）
- ③兵庫国際ジュニア大会Ⅱ（三木市/第2週=9月5日～9日）
- ④埼玉国際ジュニア大会(川口市/H21年1月9日～13日)

2. 各種国際大会の開催ならびに外国からの選手招聘
(一般主催大会)

- ①AIG OPEN 2008
- ②第45回 島津全日本室内テニス選手権大会 2009
(男子 ATP 京都チャレンジャー)

(ジュニア主催大会)

- ①JAPAN OPEN JUNIOR 2008 (ITF=G1 大会)
- ②大阪市長杯ワールドスーパージュニアテニス 2008 (ITF=GA 大会)

3. 国際大会委員会とトーナメント本部委員会会議の開催

- ① 4月22日：第1回国際大会委員会会議
- ② 6月5日：第2回 国際大会委員会会議
- ③ 11月11日：第3回 国際大会委員会一日程調整会議
- ④ 11月11日：国際大会トーナメントディレクター会議

4. その他

20年度はチャレンジャー、ツアー大会を含み男子15、女子20の国際大会が開催された。大会数の増加により、国内大会、国際行事、海外の大会との兼ね合いで、各大会の日程を簡単に移動できず、カレンダーの再構築がますます困難となった。7.5万ドル大会も出現し、国際的に魅力のあるカレンダーとなったが、1万ドル大会が減少し、女子サーキットのスタートは今年も5月のカンガルーカップ5万ドルとなった。ATP,WTAのツアーカレンダーの再編成で、東レPPOを含め、ツアーのアジア大会が秋にシフトした。AIGオープンおよび東レPPO大会開催で秋に有明会場が4週間使用できないこと、またツアーの予選参加選手希望選手が多数出現してきた事など、他の国際大会にも影響を与えている。

以上

国内大会委員会（委員長：吉田 輝也）

1. JTA公式トーナメントの円滑な運営と管理支援
 - 1) 国内大会（JTT・J1・J2）の公認ならびに支援
 - 2) 男子240大会
 - 3) 女子208大会
 - 4) 国内大会主催者への助言と支援
2. JTT大会、J1・J2大会の整備ならびに日程調整
 - 1) 2008年11月26日・ディレクター会議ならびに日程調整会議を開催
会場：岸記念体育会館5階会議室
国際大会、JTT、J1・J2大会等カテゴリーを鑑み日程の調整を行った。
 - 2) ワンコイン制度の説明を行った。
3. 一般アマチュア選手登録拡充と管理
 - 1) 選手登録システムの整備（入金システムを今後どのようにしたらいいかを検討した。）
 - 2) 選手登録数男女1万人を目標としたが6335名
4. JTAランキングシステムの拡充と管理
 - 1) 年間ランキングの作成を行った。
5. ルールブックの発刊・ルールの周知徹底

以上

国体委員会（委員長：森 清吉）

事業区分：2

事業名：第32回全日本都市対抗テニス大会抽選会ならびに準備等

事業内容：抽選会及び会場最終視察並びに開催準備

期日：平成20年6月18日（水）～19日（木）

場所：新潟県長岡市、南魚沼市

出席者：森委員長、杉澤副委員長

内容：長岡市希望が丘テニス場（16面）改修後を視察、特に問題無し。

南魚沼市大原運動公園テニスコート（20面）改修及び8面を増設しており、一部目隠しの必要があり指導。選手控えテント、ブーステントの位置に問題があり、全日本都市対抗までに改修を依頼した。

事業区分：2

事業名：全日本都市対抗テニス大会の実施

第32回全日本都市対抗テニス大会（第64回国民体育大会リハーサル大会）

事業内容：期日：平成20年7月17日（木）～20日（日）

場所：新潟県南魚沼市大原運動公園テニスコート

内容：初日2度の豪雨で中断したが、無事日程を消化し、京都市が連覇を達成した。

参加人数：384人

事業区分：2

事業名：第63回国民体育大会抽選会ならびに準備等

事業内容：参加資格確認ならびに抽選

期日：平成20年9月6日（土）

場所：岸記念体育館

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、姫井・佐伯常任委員

奥村・石原・田村・松本・荒谷・福井・堀川・毎熊各委員、

鈴木 JTA 事務局、大分 TA、新潟 TA、千葉 TA、※各県行政関係含む

事業区分：2

事業名：第63回国民体育大会（大分県）開催

事業内容：第63回国民体育大会（大分県）の実施

期日：平成20年10月3日（金）～6日（月）

場所：大分県大分市

参加人数：成年男子32都道府県64名、成年女子32都道府県64名

少年男子47都道府県141名、少年女子47都道府県141名

内容：上記410名が参加し、結果は天皇杯（男女総合）で、1位が神奈川県、2位が三重県、3位が千葉県、皇后杯（女子総合）で、1位が静岡県、2位が滋賀県、3位が秋田県であり、大会運営も滞りなく終了した。

事業区分：2

事業名：第69回国民体育大会（長崎県）第一回中央競技団体正規視察

事業内容：期日：平成20年8月6日（火）～7日（水）

場所：長崎市総合運動公園かきどまり庭球場（19面）、長崎市宮庭球場（7面）

出席者：森委員長、杉澤副委員長、佐伯常任委員

内容：両コート共ナイター設備が全面あるが、照度検査を依頼。また、コートの傷みが激しいため、前年開催の都市対抗に向け、計画的な改修計画・インドアコートの設置を要望。

事業区分：11

事業名：国体委員会の開催

① 第1回国体委員会

内容：1. 新潟都市対抗の件
2. 国体並びに都市対抗準備状況報告
3. 都市対抗地域参加枠の件・参加資格（ふるさと制度）の件
4. 国体参加者傷害補償制度の件

期日：平成20年7月17日（木）

場所：新潟県南魚沼市 セントレジャー舞子ホテル2F「ビューコンペルーム」

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、姫井・佐伯常任委員

大口・石原・田村・松本・荒谷・福井・堀川・毎熊各委員

鈴木 JTA 事務局・新潟県 TA・千葉県 TA（各県行政関係含む）

② 第1回常任委員会

内容：1. 都市対抗・国体時における JTA ポイント見直しの件
2. 国体審判員制度の件
3. 都市対抗における選手の欠場により、種別が揃わなかった場合の対処
に関して

期日：平成20年7月19日（土）

場所：南魚沼市大原運動公園内会議室

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、姫井常任委員、佐伯常任委員、

鈴木 JTA 事務局

③ 第2回国体委員会

内容：1. 財団法人日本体育協会報告の件
「国民体育大会実施競技並びに大会規模検討プロジェクト」
「長崎県正規視察」報告
2. 大分国体種別シードの件
3. 国体並びに都市対抗準備状況報告
4. 都市対抗地域参加枠の件
5. 都市対抗・国体参加ポイントの件
6. 国体出場順位の件

期日：平成20年9月6日（土）

場所：岸記念体育会館

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、姫井・佐伯常任委員、

奥村・石原・田村・松本・荒谷・福井・堀川・毎熊各委員、

鈴木 JTA 事務局

大分県 TA、新潟県 TA、千葉県 TA、※各県行政関係者含む

④ 第3回国体委員会

内容：1. 大分国体の件（選手・監督の変更、代表者・監督会議の件）
2. 国体並びに都市対抗準備状況報告の件
3. 都市対抗・国体参加ポイントの件
4. 都市対抗テニス競技地域参加枠の件

期日：平成20年10月2日（木）

場所：大分東洋ホテル3F「瀬戸の間」

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、姫井・佐伯常任委員、

石原・田村・松本・荒谷・福井・堀川・毎熊各委員、

浅沼（大口委員代理）、鈴木 JTA 事務局

大分県 TA、新潟県 TA、千葉県 TA、岐阜県 TA（各県行政関係者含）

⑤ 第2回国体常任委員会

内容：国民体育大会テニス競技、全日本都市対抗テニス競技大会における参加点としての JTA ポイントの見直しの件

期日：平成20年10月4日（土）13：40～14：10
場所：大分スポーツ公園テニスコート内会議室
出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、姫井常任委員、佐伯常任委員、
鈴木 JTA 事務局

事業区分：7

事業名：財団法人日本体育協会競技運営部会への出席

国体競技運営部会は、平成20年6月19日（木）に開催し、森清吉委員長の代理として事務局（中川淳）が出席した。

事業区分：11

事業名：国民体育大会の審判員資格に関して

事業内容：①国体委員会として審判員（63名）はC級以上の資格を有すると規定しているが、国体終了後の更新率が低く、都道府県協会に負担がかかるため、今後、どうあるべきかを検討する。

②平成20年1月24日（木）トーナメント本部会議にて、審判委員会からはC級以下は設定できないとのこと。国体委員会として、規定の変更を検討する。

③平成20年7月19日（土）第1回常任委員会において討議の結果、従来通りとし、競技委員長（レフェリー）として、B・C級レフェリーの取得を要望する。

事業区分：11

事業名：国体時の監督の資格に関して

事業内容：①本年度より監督は、「財団法人日本体育協会スポーツ指導者制度に基づく資格を有する者が望ましい。」とあり、3年後を目処に「有する者」となります。

②平成20年1月24日（木）トーナメント本部会議において、「指導者育成委員会」では、「飛び級」を検討しているが、疑問の声も上がっている。

③少年種別の監督は、学校の先生がほとんどであり、上級資格を取得するのが難しいのが現実です。都道府県の強豪有力校の監督に資格取得を勧めつつ、都道府県協会のジュニア担当等の取得を目指す。

事業区分：11

事業名：国体テニス競技、全日本都市対抗テニス大会参加選手に付与する JTA ポイントの見直しについて

事業内容：期日：平成20年11月11日（火）11：30～12：00

場所：有明コロシアム内会議室

出席者：吉田国内大会委員長、森国体委員長、杉澤副委員長、鈴木 JTA 事務局

内容：吉田委員長に内容説明の上、田中本部長への説明とともに、12月4日の本部長会議での改定提案をお願いし、次回の常務理事会への上程審議を依頼。

以上

実業団委員会（委員長：仲島 彰信）

事業区分：2

事業名：1. 第23回テニス日本リーグの開催

2. 第22回全国実業団対抗テニストーナメント（A大会）の開催

3. 第47回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）の開催

4. 定例会議、日本リーグ関係会議他の開催

事業内容：

1. 第23回テニス日本リーグの開催

(1) 1st ステージ：平成19年12月4日(木)～7日(日)

会場：横浜国際プール・広島広域公園

(2) 2nd ステージ：平成20年1月16日(木)～18日(日)

会場：横浜国際プール・兵庫ブルボンビーンズドーム

(3) 決勝トーナメント：平成20年2月20日(金)～22日(日)

会場：東京体育館

男子16チーム、女子10チームをそれぞれ2ブロックに分けリーグ戦を行い、男子は各ブロック上位3チーム計6チーム、女子は上位2チーム計4チームによる決勝トーナメントの実施。試合は2シングルス・1ダブルスにて行う。

試合会場については、兵庫ブルボンビーンズドームが出来た事により荏原湘南スポーツセンターでは開催しなくなる、広島広域公園についても最後の開催になった。

東京体育館の決勝トーナメントは、男子は昨年同様、準々決勝から開始、1位～6位までの順位決定を行った。また、土曜日の試合開始前に荏原製作所のエイサー演舞、日曜日の試合開始前にチアリーディングチーム(日本女子体育大学)の演技を開催し大会を盛り上げた。準決勝戦および決勝戦・3位決定戦は同時試合開始形式で行い、前年並みの応援者が会場に足を運んでくれた。また大会会場を明るくするためにスタッフのユニフォームの配色を考えたり、全体として選手・運営・観客の一体化が進んでいる。

広報においては決勝トーナメント開催前に、日本経済新聞の朝刊紙面を使い告知記事を掲載したりテニスナビの支援を受けたホームページの改善で観客動員を目的としながら社会に向けたアピールをした。

1st ステージの土曜日に広島会場にて出場選手の協力を得てジュニアクリニックを、決勝の東京体育館では東京都生涯学習文化財団と東京都教育委員会主催の親子クリニックを開催。更に日本リーグ決勝トーナメント観戦招待も引き続き行い、中高生の来場が増え関心が高まっている。今年は旅ポケドットコムチーム所属選手の大塚事件により、チームが解散欠場という辞退が生じた。テニス日本リーグにおいても選手管理がテーマになるとともに、「アンチドーピング対象大会」に指定され検査が実施された。

尚、今後の日本リーグのあり方については、各方面の意見を聞きながら引き続いて検討する。当面は「外国籍選手枠」の扱いを検討している。2nd ステージが全豪オープンと重なる問題に関しては1週間遅らす事ができ落ち着くことができた。

2. 第21回全国実業団対抗テニストーナメント(A大会)の開催

平成19年10月10日(金)～13日(月・祝)

会場：広島広域公園テニスコート

日本リーグ昇格チーム決定の大会で、男子16チーム、女子15チームにより行われ、男子は上位4チームが昇格を決めた。この中には第1回日本リーグに出場した経験のある古豪三菱商事が入っていた。女子は上位2チームが日本リーグ降格2チームと入れ替え戦を行いリコー関西チームの撤退を埋めることも含め3チームが昇格。試合は日本リーグと同じく2シングルス・1ダブルスにて行う。A大会に参戦する女子チームの減少は補強選手登録制度を利用したチームも増えてきている。勝ち進んだ場合に日本リーグへの昇格意思を示すチームも増えてきているのは明るい材料である。

3. 第46回全国実業団対抗テニス大会(ビジネスパル・テニス)の開催

平成19年8月29日(金)～31日(日)

会場：福島県 天栄村レジーナの森テニスコート

男子32・女子24チームの1シングルス・2ダブルスによるリーグ戦及びトーナメントを行

う。リーグ戦各ブロックの同順位毎にトーナメントを行うため全チーム 2~3 日間にわたり試合を行う。レジーナの森での大会は 3 年ぶり 2 回目だが、前回の運営における反省や経験を活かしてスムーズに進めることが出来た。今回は九州・大分で初めて開催するので繋げて生きたい。また大会を活性化していくために検討委員会を設けて議論をし改善できるところから実行に移している。

4. 定例会議、日本リーグ関係会議他の開催

(1) 全国実業団委員会

- ① 第 1 回全国実業団委員会：平成 20 年 7 月 5 日(土) 会場：荏原島山体育館
- ② 第 2 回全国実業団委員会：平成 21 年 3 月 7 日(土) 会場：荏原奥沢会館

(2) 全国実業団常任委員会

- ① 第 1 回常任委員会：平成 20 年 5 月 10 日(土) 会場：岸記念体育会館
- ② 第 2 回常任委員会：平成 20 年 10 月 4 日(土) 会場：岸記念体育会館

(3) 日本リーグ部長会

- ① 第 1 回部長会：平成 20 年 5 月 10 日(土) 会場：岸記念体育会館
- ② 第 2 回部長会：平成 20 年 10 月 4 日(土) 会場：岸記念体育会館

(4) 日本リーグ監督会議・運営委員会：平成 20 年 11 月 22 日(土) 会場：荏原島山体育館

(5) 検討委員会

- ① 日本リーグ検討委員会：平成 20 年 4 月 5 日(土) 会場：荏原奥沢会館
- ② 全国ビジネスパル検討委員会：第 1 回全国実業団委員会に含

5. 事務局体制の切り替え

実業団委員会発足時より約 23 年間にわたり、実業団委員会事務局の業務委託を受けてきた(株)スポーツブランドウの状況が、片岡社長の高齢化と健康問題や会社としての健全度から見て「限界にきている」との判断に立ち、「業務委託を解消し新体制を確立する取り組み」を進めてきました。業務委託終了については片岡社長との合意が成立していますが、代理人弁護士を通じて「慰労金」の要望が出されている。

委員長交代もあり、新事務局体制については次期委員会の中で確立をしていく事になる。

以上

ジュニア大会委員会 (委員長：榎本 正一)

事業区分：5

事業名：ジュニア大会のより発展と活性化に協力

事業内容：全国で開催されるジュニア大会の発展及び活性化に協力した対象大会

1. ジャパンオープンジュニアテニス選手権大会
2. トヨタジュニアテニストーナメント
3. 全国選抜ジュニア選手権大会
4. 全国小学生テニス選手権大会
5. 全日本ジュニアテニス選手権
6. 世界スーパージュニアテニス選手権大会
7. U-13 全国選抜ジュニアテニス選手権大会
8. U-15 全国選抜ジュニアテニス選手権大会
9. 全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
10. 全国中学生テニス選手権大会

事業区分：6

事業名：ジュニア大会に関する各種規程の改善と設定

事業内容：ジュニア選手並びにジュニア大会運営等々の環境整備

- 1) ジュニア大会規程中ワイルドカード適用に関し改定をした。
- 2) ジュニア大会スケジュールの検討をした。
- 3) ジュニア大会のあり方・見直しの検討を始めた。
(関連諸委員会と共に)

事業区分：11

事業名：会議の開催

事業内容：地域代表委員を集めた全国会議を6月7日岸記念体育会館103会議室、8月8日鞆公園テニスセンター会議室の年2回開催した。

以上

ベテラン委員会（委員長：土屋 善二）

1. 第70回全日本ベテランテニス選手権大会の開催

予選：平成20年10月7日 男子55, 70, 75才以上, 女子55, 60, 65才以上
平成20年10月9日 男子65才以上
平成20年10月10日 男子35, 60才以上
平成20年10月11日 男子40才以上
平成20年10月12日 男子45, 50 女子40, 45, 50才以上

本戦：平成20年10月8日（火）～10月17日（金）

種目：男子単 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80才以上 10種目
男子複 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80才以上 10種目
女子単 40, 45, 50, 55, 60, 65才以上 6種目
女子複 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70才以上 7種目 以上33種目

会場：名古屋市・東山公園テニスセンター

（室内外共砂入り人工芝コート20面*内4面室内）

参加資格：①JTAに当該年度（2008年度）の選手登録を行なったアマチュア・プロフェッショナル登録者

②ベテランJOPランキング規程によるベテランJOP取得者

参加人数：予選 男子単10種目176名, 女子単8種目70名, 計246名

本戦 男子単10種目232名, 男子複10種目330名, 計20種目562名

女子単6種目136名, 女子複7種目304名, 計13種目440名

参加総数 計33種目 延1240名（ウェイティングを含む）

グレード：A

補足：①第70回全日本ベテランテニス選手権大会参加者は、全国的なベテランテニス活性化に伴い、増加している。

②ベテランJOP対象大会は、グレードAの本大会を頂点として、B1(1大会), B2(2大会), C1(2大会), C2(2大会), D1(5大会), D2(2大会), E1(29大会), E2(28大会), FHG(36大会) および日本スポーツマスターズテニス競技の計108大会がある。

③男子80才以上シングルスが本年度より正式種目となり、8名が参加した。

2. 第32回全日本グラスコートベテランテニス選手権大会の主催及び運営協力

本戦：平成20年11月1日（土）～11月16日（日）

種目：男女単複33種目

会場：佐賀市・グラスコート佐賀テニスクラブ（天然芝コート16面）

参加資格：①JTAに当該年度（2008年度）の選手登録を行なったアマチュア・プロフェッショナル登録者

②ベテラン JOP ランキング規程によるベテラン JOP 取得者

参加人数：男子単 10 種目 260 名，男子複 10 種目 144 組 288 名，計 20 種目 548 名
女子単 6 種目 124 名，女子複 7 種目 108 組 216 名，計 13 種目 340 名
参加総数 計 33 種目 888 名（ウェイティングを含む）

グレード：B1

補 足：①全日本ベテラン選手権大会に次ぐ大会であり、わが国唯一の天然芝コートでの大会である。

②参加者数は 19 年度大会と比較して増加しており、非常に良い傾向にある。

3. 47 都道府県協会主催ベテラン JOP グレード E 大会 FGH 大会の推進と運営協力

事業内容：ベテランテニスの発展拡充計画の一方策である JOP 対象大会を公認し、グレード E 大会（都道府県単位で開催）は、各協会のご協力を得て、20 年度は E1（オープン）は 26 大会、E2（クローズ）は 26 大会、計 52 大会が開催された。グレード FGH 大会（市町村・クラブ単位で開催）は身近な大会でもあり、昨年の 36 大会から 37 大会へと増加した。ベテラン選手登録者も昨年 3 月末 6337 名から本年 3 月末現在 7245 名と増加した。高齢化社会に伴って、今後更なるベテランプレーヤーの増加が見込まれる。また、各種の大会開催の環境を整備し、充実した運営に協力した。

4. 日本スポーツマスターズ・テニス競技の運営と協力

主催者財団法人日本体育協会の委託事業として第 8 回本大会を共同主催し、運営主管の滋賀県テニス協会の運営に協力した。

抽 選 会：平成 20 年 8 月 7 日

岸記念体育会館 101 号会議室

前 夜 祭：平成 21 年 9 月 19 日（金）参加者数 722 名

高知新阪急ホテル「花の間・蘭の間」にて

期 日：平成 21 年 9 月 20 日（土）～22 日（月）3 日間

会 場：高知県立春野総合運動公園テニスコート

開 始 式：平成 21 年 9 月 20 日（土）9:00～

開始宣言……大会ディレクター 土屋善二

大会会長挨拶…大会ディレクター 土屋善二（盛田会長代理）

歓迎の言葉……高知県テニス協会会長 岡内紀雄

〃 ……高知市（高知市岡崎誠也市長代理）

〃 ……大会シンボルメンバー 佐藤直子

競技説明……レフェリー沖田栄子（高知県テニス協会副理事長）

種 目：男子単 35 才以上，複 45 才以上，女子単複 40 才以上 4 種目

参加資格：JTA 選手登録者にして、各都道府県協会の推薦（推薦方法は任意）による男女単複各 1 名 1 組（主管担当県は 2 名 2 組）48 ドローとする。

参加人数：男子単 48 名、複 46 組（92 名）計 140 名

：女子単 44 名、複 48 組（96 名）計 140 名 合計 280 名

補 足：全種目不参加は、北海道・青森県・山梨県・京都府・佐賀県の 5 道府県であった。

5. アジア都市対抗ベテラン大会の日本開催

本大会は、アジア地域ベテランテニスプレーヤーの相互理解と友情を深めるとともに、ベテランテニスを通じて、国際親善に大いに貢献することを目的として、1986 年より毎年開催されているものである。

日本では、1987 年に第 2 回大会が千葉・船橋ららぽーとテニスクラブで、1993 年に第 8 回大会が大阪・江坂テニスセンターで開催された。

今回の第 23 回大会は 15 年ぶりに日本で開催された。

主 催：アジアテニス連盟（ATF）

主 管：日本テニス協会
 期 日：平成 20 年 6 月 23 日（月）～26 日（木）
 会 場：名古屋東山公園テニスセンター
 種 目：男子複各 50, 55, 60, 65, 70, 75 才以上各 1 組
 女子複各 50, 55 才以上 1 組 計 7 組による団体戦

参加都市及び成績順位：

1st	Tokyo	JAPAN	6th	Taipei	
CHINESE TAIPEI					
2nd	Nagoya	JAPAN	7th	Gyeonggi	KOREA
3rd	Seoul	KOREA	8th	Beijing	CHINA
4th	Shanghai	CHINA	9th	Hongkong	CHINA
5th	Bangkok	THAILAND	10th	Dalian	CHINA
				11th	Singapore
SINGAPORE					

参加選手：男子 小西一三、浅野桂市、正木司郎、三宅隆信、須藤寛、大島仲美、
 山本外喜夫、山西傑、中島健智、江口正俊、上田昇、宮川正夫、
 栗田俊男、小泉茂、柳沢彰、安達正純、宮城淳、森成蹊、徳弘晴輝、
 向井龍義、勝田茂、藤原堅三、田口正樹、小條輝章、内藤義雄、
 塩見芳彦、屋代春幸、西谷豊 28 名
 女子 松井文子、石井三代子、水野美子、水野弘子、野寄八重子
 中川万里子、柳川幾美、森田玲子、及能眞利子、小泉幸枝、
 佐谷真理 11 名 計 39 名

6. 国際ベテラン大会への選手派遣

① I T F 主催年令別世界ベテラン大会【Aグループ・Bグループ同時開催】

<団体戦> 期 日：平成 20 年 10 月 12 日（日）～10 月 18 日（土）

会 場：トルコ・アンタリア

本年度は全日本ベテラン大会と日程が重なったため、派遣をとりやめた。

<個人戦> 期 日：平成 20 年 10 月 19 日（日）～10 月 26 日（土）

会 場：トルコ・アンタリア

②第 2 2 回北京国際元老网球大会

主 催：北京市网球協会 北京市元老网球協会、北京市国際体育交流中心

期 日：平成 20 年 10 月 23 日（木）～29 日（水）

会 場：北京市洗農壇网球場

種 目：年令別男女単複 26 種目・混合複 2 種目

参加者数：男子 7 名女子 7 名 計 14 名

7. 財団法人日本体育協会主催日本スポーツマスターズ委員会への出席

①スポーツマスターズ 2008 高知大会第 1 回連絡会議

期 日：平成 20 年 4 月 22 日

場 所：岸記念体育会館 101・102 号会議室

出席者：土屋善二、帆足佳子

②スポーツマスターズ 2008 高知大会第 1 回マスターズ委員会

期 日：平成 20 年 6 月 12 日

場 所：日体協理事監事室（2F）

出席者：中西伊知郎、帆足佳子

③スポーツマスターズ 2008 高知大会組合せ抽選会

期 日 : 平成 20 年 8 月 7 日
場 所 : 岸記念体育会館 101 号会議室
出席者 : 土屋善二、中西伊知郎、高芝純明、沖田栄子、金澤博子、帆足佳子

④スポーツマスターズ 2008 高知大会第 2 回連絡会議

期 日 : 平成 20 年 8 月 26 日
場 所 : 日体協理事監事室 (2F)
出席者 : 土屋善二、帆足佳子

⑤スポーツマスターズ 2008 高知大会第 3 回連絡会議

期 日 : 平成 20 年 11 月 14 日
場 所 : 日体協理事監事室 (2F)
出席者 : 土屋善二、帆足佳子

⑥スポーツマスターズ 2008 高知大会第 2 回マスターズ委員会

期 日 : 平成 21 年 2 月 26 日
場 所 : 日体協理事監事室 (2F)
出席者 : 中西伊知郎

以上

選手委員会 (委員長: 右近 憲三)

1. プロフェッショナル選手の登録管理

- (1) プロフェッショナル登録レベル分け、登録証の発行、新規プロフェッショナルの承認
平成 20 年度プロフェッショナル登録者…270 名 (平成 21 年 3 月 31 日付登録料納入者)
内、新規登録者……20 名

平成 20 年度プロフェッショナル登録料<合計> 270 名 1,535,000 円
10,000 円 × 37 名 = 370,000 円、5,000 円 × 233 名 = 1,165,000 円

レベル	トナメントプロフェッショナルプレイヤー	ビギンスタートプレイヤー	合計
男子	54	120	174
女子	55	41	96
合計	99	161	270

- (2) アマチュア復帰申請に対する実績審査、承認

平成 20 年度アマチュア復帰者…3 名
平成 20 年度プロフェッショナル抹消申請者…4 名

2. 新規プロフェッショナル対象研修会の開催

プロフェッショナル登録者は、プレー中はもちろんコート外でもプロテニスプレイヤーとしての自覚を持ち、マナー・礼儀・挨拶・身だしなみのしっかりとした誰からも尊敬される選手になってもらうという目的のもと、第 3 回新規プロフェッショナル対象研修会を平成 20 年 4 月 15 日(火)に岸記念体育会館にて開催した。今回の参加者は、過去 3 年間に新規プロ登録した選手を対象とし、若手からベテランまで 15 名が参加した。プロとしての心構え、社会人としての一般常識・モラル、メディア・スポンサーへの対応、ルール・スケジュール管理などについて、小浦強化本部長、佐藤政廣倫理委員長、福井強化副本部長、八田広報委員長、川廷国際委員長よりご講演頂いた。5 時間近くに及ぶ長い研修会だったが、選手達は皆熱心に耳を傾けていた。研修会終了後には、貴重で充実した時間を過ごせたと感想を述べ喜んでいました。

3. 全日本テニス選手権大会ジュニアテニススクールの開催

毎年全日本テニス選手権大会開催中に行われるジュニアテニススクールは、平成 20 年 11 月 16 日(日)に予定していたが、雨のため中止となった。小・中・高校生を対象とする募集数 100 名に対し 193 名もの応募があったのに非常に残念なことであった。

4. 全日本テニス選手権大会選手ミーティングの開催

全日本テニス選手権大会開催中の平成 20 年 11 月 10 日(月)ウェルカムパーティー終了後、東京ベイ有明ワシントンホテルにて開催した。選手は男子約 70 名・女子約 50 名、コーチ・関係者 15 名が出席した。盛田正明会長、川廷榮一副会長、渡邊康二専務理事、矢澤猛会長室長、小浦武志 GM・強化本部長、中西伊知郎ディレクター、八田修孝広報委員長、右近選手委員長が列席し、選手からの活発な意見や質問に回答した。毎年、短時間ではあるが選手とのコミュニケーションを図る場であり、普段滅多に聞けない選手の考えを聞くことのできる貴重な機会である。また今回は特に大麻事件というあってはならない事件の直後であったため、選手を強く戒めるとともにその危険性を説きクリーンな選手生活を呼びかけたが、選手達もまた神妙に耳を傾けていた。

以上

審判委員会 (委員長：増田 憲司)

事業区分：4

事業名：国際審判員、レフェリー養成事業並びに審判員、レフェリー養成事業の開催

事業内容：1 有望新人の発掘と養成のための指導員の派遣
2 バッジホルダー主審のための特別講習会の開催 10 月
3 審判員育成のためジャパンオープン、全日本大会への旅費、宿泊の補助

事業区分：4

事業名：審判員養成、拡大事業への開催

事業内容：1 C級審判員認定会への講師派遣：日本全国で年間 27 回開催
2 A級審判員エバリュエーション：11 月に東京で開催
3 関東学生連盟の講習会に講師派遣 7 月に東京で開催
スポーツ専門学校の講習会に講師派遣 9 月に東京で開催

事業区分：2

事業名：審判員派遣業務

事業内容：国際大会をはじめとする大会に海外のレフェリー、日本人審判員の派遣

事業区分：8

事業名：ルールブックの編集と発行事業

事業内容：ルールブックの編集と出版

事業区分：4

事業名：公認審判員、公認 B 級レフェリー登録管理事業の開催

事業内容：1 審判員、レフェリーの登録管理
2 公認審判員の新規登録並びに登録更新

事業区分：1 1

事業名：審判関連の問い合わせ、情報提供の開催

事業内容：審判啓蒙活動としてルールの問い合わせ、照会、相談に適切且つ迅速に対応

以上

専務理事直轄

倫理委員会（委員長：佐藤 政廣）

事業区分：1 1

事業名：倫理規程のテニス愛好家への浸透と啓蒙活動の促進ならびにテニスに関する倫理観についての研究活動と事例集の周知活動

事業主旨：倫理規程の普及と啓蒙に活動の重点を置きながら、昨今の倫理に抵触する事実問題の解決に対応を行った。

特に、報じられて承知の大麻事件やセクハラ・パワハラ問題、また、大会会場における暴力事件等、倫理委員会あてに寄せられた告発や訴えの問題に対し、調査および検証を行い、解決への活動も行った。

- 事業内容：1. 本会および加盟団体においては、常に公明正大でかつ健全化を目指した管理体制と健全な組織運営を倫理規定の遵守によって実現する。
2. あわせて、地域・都道府県テニス協会に不祥事の発生を予防し、また、問題が発生した場合にも迅速に対応するよう再度周知した。
3. 倫理委員会あてに寄せられた告発や訴え、また刑事事件に問われた問題に対し、調査および検証を行ない、日本テニス協会設置の査問委員会を開催し、罰則規程を用いて解決に至るものがあった。
4. 昨今の倫理問題の多くがプレイヤーや指導者の立場にある者によって発生されている。そのためにも、プロフェッショナル研修会において倫理をテーマにした講義を行った。

以上

危機管理委員会（委員長：内山 勝）

平成20年度は危機管理に関する大きなトラブルは発生いたしませんでした。

以上

ドーピング判定委員会（委員長：渡邊 康二）

1. ドーピング検査陽性反応者発生時の対応

平成20年度における大会でのドーピング検査の結果に陽性反応者はゼロであった。

以上